

平成 30 年度

「NPO、企業、学生との連携・協力事業」及び
「ふるさと・きずな維持・再生支援事業成果報告交流会」業務

NPO と企業等のマッチング事業 報 告 書



福 島 県

ふくしま地域活動団体サポートセンター

事業委託：福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課

事業受託：認定特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター

目 次

1. 事業の目的	P. 3
2. 実施スケジュール	P. 4
3. 事前アンケート調査について	P. 5
4. NPO 事前講座について	P.10
5. NPO と企業とのマッチング会について	P.18
6. マッチング会における参加 NPO プレゼン資料 . . .	P.30
7. マッチング事業 参加 NPO	P.46
8. マッチング事業 参加企業	P.48
9. NPO と企業とのマッチング会後の成果	P.51

1 事業の目的

ますます多様化・複雑化する社会で、福島県に於いても多くの NPO が様々な地域課題に立ち向かい解決すべく日々活動している。しかし各団体の組織力・資金力は脆弱であり、社会の期待に応えきれていないと言いが現状である。一方、企業の CSR 活動は、各企業の社会的な存在意義や企業価値の向上を目指して盛んになりつつも、大義を目指した、そして実際に地に足を付けた地域密着の貢献活動にするには、まだまだ時を要すると言わざるを得ない。そこで期待されているのが産学官民の連携、とりわけ NPO と企業の協働である。NPO・企業ともに得意分野を活かしながら、それぞれの組織が持つ課題を協働により解決し新しい活力を生み出す為に、福島県の NPO 支援センター「ふくしま地域活動団体サポートセンター」が相互のマッチングを実現させるべく、この事業を実施する。

＜NPO と企業とのマッチング事業の平成 30 年度の基本的な考え方＞

NPO と企業との協働マッチングについて昨年度の事業実績や今年度実施したアンケート調査および企業訪問等から、企業は CSR としての社会貢献活動を積極的に実施したいと考えており、その選択肢の一つとして NPO と協働することも可能であると考えていることがわかった。

しかし企業側には NPO についての知識や情報が少なく、相対する NPO が信頼できる相手なのかどうか判断できず少なからず不安を感じている。また NPO は日々の活動において資金不足や人材不足等の問題を抱え、自団体単独ではなかなかその活動を充実・発展させられない状況にある。

そのような NPO にとっては、多様な主体（企業等）との協働によって活動を推進させることがある程度必要となるが、賛同や協力・理解を得るために自分たちの活動を相手にわかりやすく伝えるのが非常に苦手であり、協働の意思はあるがなかなか積極的に企業等へアプローチできない場合が多い。

以上のような状況で NPO と企業との協働マッチングを進めるには、いきなり大きなプロジェクトの話をするのではなく、NPO の弱点（アプローチ力）を補いつつ、まずお互いをよく知るためのきっかけづくりとなる小さなプロジェクトから始めて少しずつ信頼関係を築いていくことが重要だと判断した。

したがって昨年度に引き続き、平成 30 年度も ①アプローチ講座 ②プレゼン講座 ③マッチング会を通して、企業の NPO に対する不安の払拭と NPO の企業へのアプローチ力とプレゼン力の強化を目標に、しっかりと両者を繋ぐパイプ役を務めながら小さなプロジェクトを少しでも多く実現して、お互いの信頼関係を築いていけるようこのマッチング事業を進めた。

2 実施スケジュール

本事業の内容については大きく分けて

- 【1】 事前アンケート調査の実施
- 【2】 NPO のアプローチ講座
- 【3】 NPO のプレゼン講座
- 【4】 NPO と企業とのマッチング会
- 【5】 マッチング会後のアフターフォロー

の5つあり、その実施スケジュールは以下の通りである。

【1】 事前アンケート調査の実施

6月1日（金）～6月30日（土）福島県内NPO法人（約900団体）へのアンケート調査実施

7月1日（日）～7月31日（火）福島県内企業（約3800社）へのアンケート調査実施

【2】 NPO のアプローチ講座

8月21日（火）いわき産業創造館（会議室1）	13:30～16:30
8月23日（木）郡山ミューカルがくと館（小ホール）	13:30～16:30
8月24日（金）会津稽古堂（研修室6）	13:30～16:30

【3】 NPO のプレゼン講座

10月16日（火）会津稽古堂（研修室4）	13:30～16:30
10月17日（水）いわき産業創造館（会議室1）	13:30～16:30
10月18日（木）郡山ミューカルがくと館（小ホール）	13:30～16:30

【4】 NPO と企業とのマッチング会

11月13日（火）会津アピオスペース（2階会議室）	13:30～16:30
11月14日（水）郡山ミューカルがくと館（小ホール）	13:30～16:30
11月15日（木）いわき産業創造館（会議室1）	13:30～16:30

【5】 マッチング会後のアフターフォロー

11月16日（金）～3月29日（金）ふくしま地域活動団体サポートセンターによる
マッチングに関するアフターフォロー

3 事前アンケート調査について

マッチング事業を始めるにあたり、福島県内の NPO（約 900 団体）と企業（約 3800 社）の双方に向けて、それぞれの協働について興味があるか等を問うための事前アンケートを実施した。その中で「協働に興味がある」と回答した NPO および企業に対して、次のアプローチをかけることとした。

＜実施日＞

6 月 1 日（金）～6 月 30 日（土）福島県内 NPO 法人（900 団体）へのアンケート調査

7 月 1 日（日）～7 月 31 日（火）福島県内企業（3767 社）へのアンケート調査

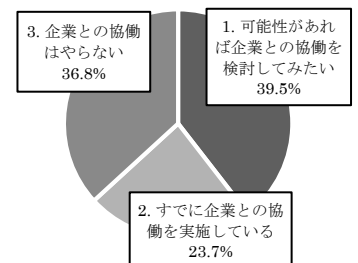
平成 30 年度 NPO と企業等のマッチング事業 「事前アンケート」 集計（NPO 編）

◆配布 福島県内の NPO 法人 900 団体

◆アンケート回答数 76（回収率 8.5%）

1. 事業を実施する上で、企業と協働して実施したいものがありますか。

	回答数	%
1. 可能性があれば企業との協働を検討してみたい	30	39.5
2. すでに企業との協働を実施している	18	23.7
3. 企業との協働はやらない	28	36.8
計（無回答を除く）	76	100.0



＜理由＞（自由記述）

【1. 可能性があれば企業との協働を検討してみたい】

- 私たちが出来ること、企業とのコラボを模索。
- 町の委託事業として事業を行っている。婚活イベントとして、企業にも登録していただき、いろいろなイベントに協力していただきたい。
- ボランティア参加への周知、設備材料等の協力・広報協力。
- 地元企業へ活動を紹介する機会を頂きたい。
- フードドライブへの協力、ふくしまオーガニックコットンプロジェクトでの社員研修。
- 子育て親子向けイベント。
- 企業の CSR として外来動植物の駆除活動等で協働したい。
- 職場体験、サッカー教室イベントの開催、子ども食堂の協力。
- 障がい者（痴呆、身体）とのマッチング希望。

- イルミネーションイベントの告知・運営に関わること。
- 座って仕事ができるもの。
- 社員の仕事を分業（一緒に仕事をする）。
- 心のバリアフリーの普及。
- 未定。今後考えていきたい。
- 企業（社員）の健康相談事業（スポーツ活動の推進）。
- イベントの裏方作業など。
- 仕事の協働及び利用者の就職先について。
- ベッド上入浴、健康食品。
- 障がい者の就労事業所であり、農業事業所との連携（農福連携）を考えている。
- 就労支援事業として職場体験の受け入れ。
- 日々の活動で何をどうするか思いつかない。
- 具体的な構想は現状無し。現状を維持することでいっぱいな状況。
- 継続的な共生型イベントの開催。

【2. すでに企業との協働を実施している】

- 2社の食品会社としようとしている段階。
- 人材育成。
- 農業体験の受け入れをしてもらっている。
- 13のイベントを計61回実施し、それぞれ企業・NPO法人・大学・個人と協働しております。
- 当該NPO加盟企業との間でインフラ調査など協働しております。
- 地域の改良など。
- 体験型イベント。
- 狭義的になるかもしれませんが、企業からの下請け作業を取り込んでいる。
- 委託作業（内職）の請負。
- 原発避難・貧困家庭の子どもの無料学習教室の開催。
- 東証一部上場企業の会社で協働を始めている。協働事業までは踏み込んでいないが、将来的には事業を行いたい。
- サッカー教室など。
- 当法人主催イベントへの出店など。
- 共催としての大会の実施。

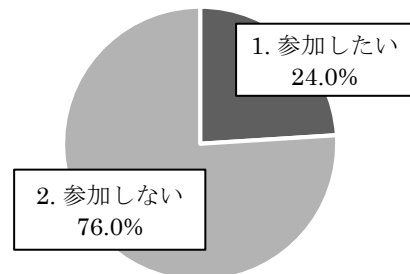
【3. 企業との協働はやらない】

- 余裕がない。
- 時期尚早。
- 行政からの委託事業をしているから。
- 市民活動・ボランティア活動が主旨であるので。
- NPO自らが障害児支援事業を運営している。企業との協働は不向き。

- 3 年後に NPO を閉じる方向となったため、協働の申し出があればぜひお受けしたいと思うが、今のところ農園一区画オーナーを募り、支援者が増えたためそのつながりを大切にしたい。
- 現状人的な部分で難しい。
- 今のところは考えていない。
- 障がい者の支援が大変で無理。
- 設立して間もないため、現状の事業を安定して運営することを優先したいと考えている。
- 協働事業を展開するだけの体制・人材が整っていないから。
- 避難中につき活動休止中のため。
- 先方から嫌われている。
- 今のところ必要なし。
- 事業の性質上、企業との協働はなじまないものである。
- 人手不足のため。
- スタッフ個々人の作業能力、年齢などを考慮すると難しいと思われる。
- 魅力を感じない。
- 年間事業活動で余裕がない。
- 休業中のため。人材・資金不足。
- 当面、ゆとりがないため。

2. 平成 30 年度「NPO と企業のマッチング事業」（全 3 回×3 会場にて実施）に参加したいですか。

	回答数	%
1. 参加したい	18	24.0
2. 参加しない	57	76.0
計（無回答を除く）	75	100.0



以上

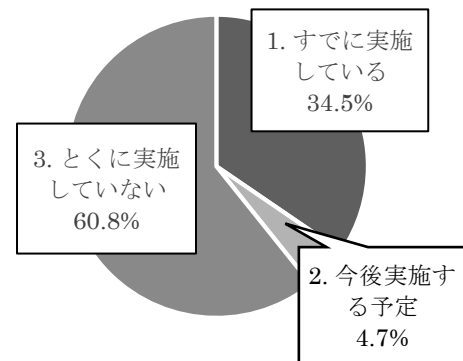
平成 30 年度 NPO と企業等のマッチング事業 「事前アンケート」集計（企業編）

◆配布 福島県内に事業所のある企業…3767 社

◆アンケート回答数…365（回収率 9.7%）

1. 御社では、CSR として社会貢献活動を実施していますか。

	回答数	%
1. すでに実施している	124	34.5
2. 今後実施する予定	17	4.7
3. とくに実施していない	218	60.8
回答者数（無回答を除く）	359	100.0



自由記述

【1. すでに実施している】

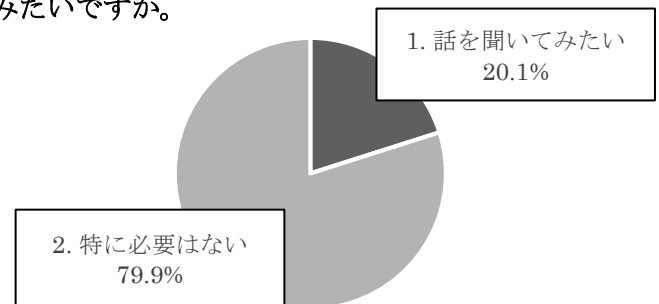
- より良いゴルフ場を運営していくことが健康寿命を延ばす意味で CSR と考えています。
- 買い物支援活動。
- 「福島県を復興し隊」として、県産の野菜・果物を中心に首都圏で PR 活動を通して安全性を訴えている。
- 自社で設立したボランティア団体や、弊社内に NPO の事務局が設置されている。
- 知人が行っている NPO の事業に側面で協力している。
- ごみ拾いなど。
- 古切手回収、エコキャップ回収。
- 「NPO こおりやま空き家バンク」に参加しています。
- 清掃活動、中高校生の職場体験事業受入れなど。
- NPO 団体に加入しています。
- 就労継続支援 B 型事業。
- 太陽光発電、クリーン作戦、植樹祭寄付。
- NPO 法人に協力している。
- NPO こおりやま空き家バンクに申し込んでいる。
- 空き家に関して（NPO こおりやま空き家バンク）
- 道路クリーンアップ、除雪など。
- 家庭教育応援企業登録など。
- 郡山市と NPO 法人福島県構造物調査診断機構との間で締結した災害協定に基づくブロック塀の点検作業など。
- 古河機械金属（親会社）で CSR の取組みを行っています。
- 交通や防犯協会への寄付行為、地域の清掃に積極的に参加。
- 安心・安全な住まいの提案、ゼロエネルギー住宅での環境負荷の低減、県産木材利用の地産地消の

取組み、再生可能エネルギーへの取組み。

- 工場見学、仔ウシふれあい体験。
- 献血活動、ごみ拾い。
- 無料のカルチャー教室開催。
- 東日本大震災ふくしまこども寄付金。
- 「富士ゼロックス福島端数倶楽部」を設立して、2004年から様々な活動に取り組んでおります。

2. 機会があれば協働について NPO の話を聞いてみたいですか。

	回答数	%
1. 話を聞いてみたい	73	20.1
2. 特に必要はない	291	79.9
計（無回答を除く）	364	100.0



以上

4

NPO 事前講座について

事前アンケートで「可能性があれば企業との協働を検討してみたい」と回答した NPO に対して、協働事業の実現のための「NPO と企業とのマッチング会（お見合い会）」へ向けて NPO 側の事前準備として、【1】NPO アプローチ講座【2】NPO プレゼン講座 を実施して NPO の「わかりやすい資料作成力」と「相手に確実に効果的に伝えるプレゼン力」を高めることを目的とした。

【1】 NPO のアプローチ講座

企業との協働を見据え、自分たちのことを的確に相手に伝えるために、自団体の活動紹介や企業と協働したい内容などを、A4 一枚で簡潔にわかりやすくまとめるための講座。

○ 講師：遠藤智栄 氏（地域社会デザイン・ラボ代表 NPO/コミュニティ・アドバイザー）

いわき 会場	■ 8/21（火）	いわき産業創造館（会議室 1）	13:30～16:30
郡 山 会場	■ 8/23（木）	郡山ミュージカルがくと館（小ホール）	13:30～16:30
会 津 会場	■ 8/24（金）	会津稽古堂（研修室 6）	13:30～16:30

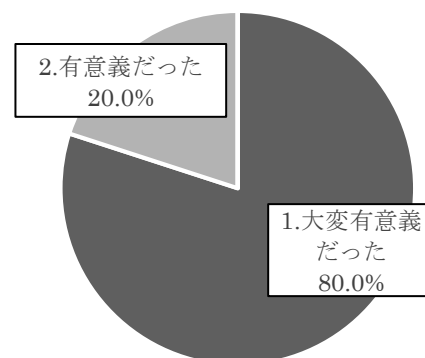


平成 30 年度 NPO と企業等のマッチング事業 「NPO アプローチ講座」アンケート集計

- ◆受講者数…16 名
- ◆受講団体数…11 団体
- ◆アンケート回答者数…15 名（回収率…93.8%）

1. 今日の講座を受講した感想はいかがですか？

	回答数	%
1. 大変有意義だった	12	80.0
2. 有意義だった	3	20.0
3. ふつう	0	0.0
4. あまり良くなかった	0	0.0
5. 良くなかった	0	0.0
計（無回答を除く）	15	100.0



【1. 大変有意義だった】

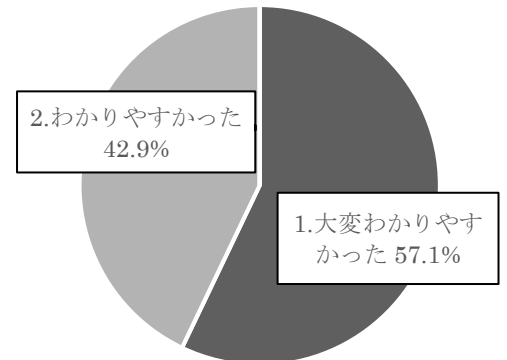
- 昨年に続き 2 回目の参加であったため自分たちがどうしたいのか明確な目的を持って臨むことができた。
- 婚活にプレゼンの勉強はあまり関係ないような気持ちでいましたが、そうでもないと思いつながら勉強することができました。
- 企業へのアプローチ以前に自分の団体を見つめ直す良い機会となりました。
- 思いを文章にする難しさを感じた。
- 協働の意義。団体にとっての・企業にとってのメリットの方向性について。
- 新しい気づき・視点をいつもいただいています。
- 自分の要望ばかり考えていて、相手の視点が欠けていたのに気づかされました。
- 今後のスケジュールがはっきりとしており、具体的に考えることができた。
- 詳細に説明を受け、頭の中が整理できた。
- 話し方が分かりやすかった。

【2. 有意義だった】

- 初回としては、この位の内容で十分だと思います。
- 勉強する機会を得られた。

2. 講義内容やテキストはわかりやすかったですか？

	回答数	%
1. 大変わかりやすかった	8	57.1
2. わかりやすかった	6	42.9
3. ふつう	0	0.0
4. やや難しかった	0	0.0
5. 難しかった	0	0.0
計（無回答を除く）	14	100.0



<理由>（自由記述）

【1. 大変わかりやすかった】

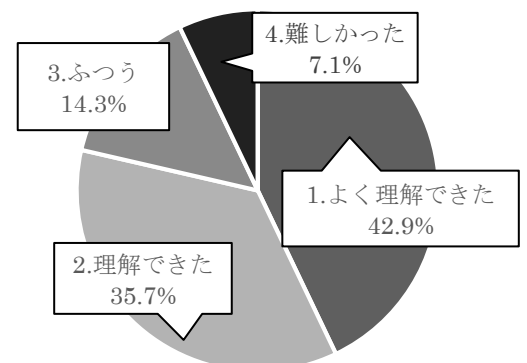
- 企業に対するアプローチの具体的な方法を知ることができた。
- 企業とのマッチングの資料として有効であった。
- 具体的なプレゼン資料であった。（横文字がきつい！）
- 現在の社会の流れを知る事ができ、参考になった。
- 基本が学べたので。

【2. わかりやすかった】

- 自分たちの団体を客観視することができた。
- 認識不足を教えられた。

3. 本講座の理解度はどのくらいですか？

	回答数	%
1. よく理解できた	6	42.9
2. 理解できた	5	35.7
3. ふつう	2	14.3
4. 難しかった	1	7.1
5. かなり難しかった	0	0.0
計（無回答を除く）	14	100.0



4. その他、何かありましたら記入をお願いいたします。(自由記述)

- 1回参加したから良いではなく、2回・3回と出ることによって更に自団体の強みを見つけることができると思った。他の団体さんにも何回も参加してみると良いとアプローチしては…？
- どんなイベントにしようか、ということばかり考えてしまい、もっと結婚に対する独身男女が思っている部分のことなどじっくり考えることがなかったような気がしました。いい勉強になりましたが、難しいと感じました。
- 協働というより協力ではないか？と不安がありつつ参加しましたが、団体を見つめ直すのにも、何を求めているのか・自分が何をしたいのかと考えさせられる時間でした。
- 昨年度に引き続き参加させて頂きました。企業とのマッチングだけではなく、自分の団体の強み・弱みを発見することができました。マッチング会までどうぞよろしくお願いいたします。
- 講座の進め方が大変明確で分かりやすかったです。又、意欲をかきたてられました。
- ありがとうございました。

以上

【2】 NPO のプレゼン講座

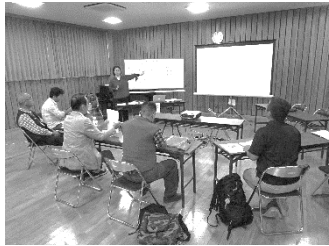
企業との協働のためのマッチング（お見合い）の際に、【1】NPO アプローチ講座で作成した資料を基に企業に対して自団体を効果的にアピールするためのプレゼン法を学び、マッチング本番に向けて練習（リハーサル）する講座。

○ 講師：遠藤智栄 氏（地域社会デザイン・ラボ代表 NPO/コミュニティ・アドバイザー）

会 津 会 場 ■10/16（火）会津稽古堂（研修室 4） 13:30～16:30

いわき 会場 ■10/17（水）いわき産業創造館（会議室 1） 13:30～16:30

郡 山 会 場 ■10/18（木）郡山ミュージカルがくと館（小ホール） 13:30～16:30

会津会場	いわき会場	郡山会場
		
		

平成 30 年度 NPO と企業等のマッチング事業

「NPO プレゼン講座」 アンケート集計

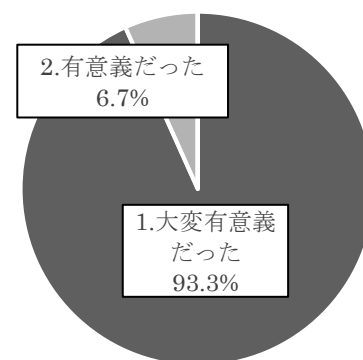
◆受講者数…22 名

◆受講団体数…13 団体

◆アンケート回答者数…15 名（回収率 68.2%）

2. 今日の講座を受講した感想はいかがですか？

	回答数	%
1. 大変有意義だった	14	93.3
2. 有意義だった	1	6.7
3. ふつう	0	0.0
4. あまり良くなかった	0	0.0
5. 良くなかった	0	0.0
計（無回答を除く）	15	100.0



【1.大変有意義だった】

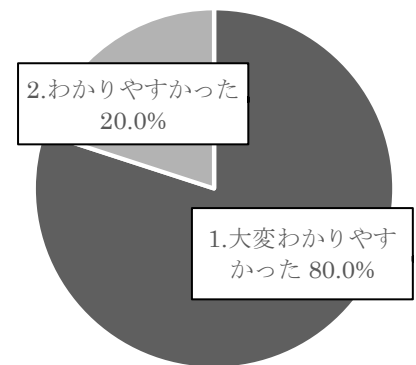
- 他団体のプレゼンも参考になりました。
- 発表の仕方、何を訴えるか。
- プレ・プレゼンができたこと（大人になるとこういう機会がないので）。的確なアドバイスをいただいた。
- 皆さんの前で実際にプレゼンの練習ができたことで、緊張感や時間配分など実感できた。
- 実際にプレゼンをすること・聞くことで改善すべき点が見えた。
- 再確認することができた。他の方の発表を聞くことにより勉強になった。
- 自分のプレゼンを客観的に見ることが出来た。他者の意見が参考になった。
- 発表資料・方法等修正点がよくわかった。
- プレゼンのポイントが知れたこと。
- 自分の発表の改善点が把握できた。

【2.有意義だった】

- 代表のプレゼンの練習になって良かった。

2. 講義内容やテキストはわかりやすかったですか？

	回答数	%
1. 大変わかりやすかった	12	80.0
2. わかりやすかった	3	20.0
3. ふつう	0	0.0
4. やや難しかった	0	0.0
5. 難しかった	0	0.0
計（無回答を除く）	15	100.0



<理由>（自由記述）

【1. 大変わかりやすかった】

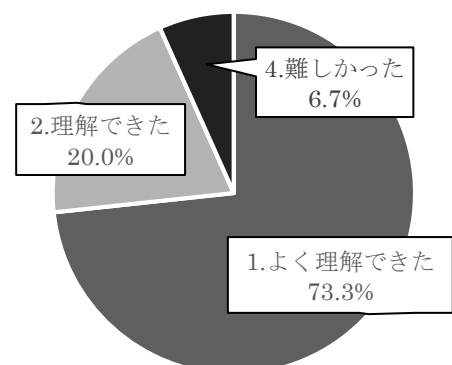
- 今、必要なことを認識できた。
- フィードバックによって改善点が分かりやすかった。
- 繰り返しの練習はとても良い。
- 講師より、短い言葉で的確なアドバイスをいただくことが出来た。
- 例を示しての発表が分かりやすかった。
- 他団体の発表を見ることが出来、非常に参考になりました。
- 前回も今回も目的をはっきり示していただいたので OK。

【2. わかりやすかった】

- みんな堂々と発表していた。
- サポセンスタッフよりプレゼンについて聞いていたのでより理解が早まった。

3. 本講座の理解度はどのくらいですか？

	回答数	%
1. よく理解できた	11	73.3
2. 理解できた	3	20.0
3. ふつう	0	0.0
4. 難しかった	1	6.7
5. かなり難しかった	0	0.0
計（無回答を除く）	15	100.0



4. その他、何かありましたら記入をお願いいたします。(自由記述)

- 今後も具体的に役立つ講座を期待しています。よろしくお願いします。
- ボランティア活動と企業活動とのどこをマッチングできるか、再度検討しなければならなかった。
- これから資料の書き方も一度考えてみます。
- 皆さんの意見がたくさん聞けて良かったです。
- 皆様からのご意見を参考にして更に話しの内容と資料を精査します。ありがとうございました。
- 自分の中での思いがまとめ切れていないことが肝心。資料も分かりやすく改善する。
- ありがとうございました。
- 参加企業が1社でも多く集まりますよう願います。できましたら社会福祉に理解のある企業が少しでも多く集まりますように…ありがとうございます！

以上

5 NPO と企業とのマッチング会について

事前アンケートで「可能性があれば企業との協働を検討してみたい」「協働に興味はあるが企業との実施に不安がある」と回答した NPO と、「社会貢献活動の一環として NPO との協働に興味がある」と回答した福島県内の企業に対して、NPO から企業へ協働事業に向けての提案をプレゼンテーションする機会を設け、福島県内 3 地域で「NPO と企業とのマッチング会（お見合い会）」として実施した。

各会場ごとに地元で「NPO との協働」について興味がある企業に参加いただき、NPO が【1】NPO アプローチ講座【2】NPO プレゼン講座で作成・修得した自団体の協働に関する企画提案を参加企業に向けてプレゼンテーションする。その後、NPO と企業とで直接話ができる時間も設けた。

○ 総括：遠藤智栄 氏（地域社会デザイン・ラボ代表 NPO/コミュニティ・アドバイザー）

会 津 会 場	■11/13（火）会津アピオスペース（2 階会議室）	13:30～16:30
郡 山 会 場	■11/14（水）郡山ミュージカルがくと館（小ホール）	13:30～16:30
いわき 会 場	■11/15（木）いわき産業創造館（会議室 1）	13:30～16:30

マッチング会_会津会場 11/13（火） 参加 NPO 6 団体 9 名、参加企業 3 社 3 名



マッチング会_郡山会場 11/14 (水) 参加 NPO 6 団体 10 名、参加企業 12 社 15 名



マッチング会_いわき会場 11/15 (木) 参加 NPO 7 団体 13 名、参加企業 5 社 7 名



NPO と企業とのマッチング会 企業参加勧誘チラシ



平成 30 年度 NPO 強化による復興創生事業「NPO、企業、学生との連携・協力事業」

福島県主催 平成30年度 「NPOと企業等のマッチング事業」

NPOと企業とのマッチング会 開催！

企業での **CSR** の一環として実施する **社会貢献活動** のひとつの方法として、地域に密着し様々な社会的課題を解決するために日々活動している **NPO** との **コラボレーション（協働）** を考えてみませんか？
この度、**NPO** がどんな想いで活動し企業の皆様と今どんなことでコラボレーションしたいのか、話をする機会を設けました。ぜひご参加いただき **NPO** からの提案をお聞きください。可能性があるかどうかの話はそれからです。情報収集など、この **マッチング会** を **NPO** との **出会いの場** として大いにご活用ください。

11月13日（火）13:30～16:30

会津アピオスペース 2階会議室 会津若松市インター西 90 TEL 0242-37-2801

11月14日（水）13:30～16:30

郡山ミュージカルがくと館 小ホール 郡山市開成1丁目1-1 TEL 024-924-3715

11月15日（木）13:30～16:30

いわき産業創造館 会議室1 いわき市平字田町 120 ラトブ 6 階 TEL 0246-21-7570

参加無料 参加希望の企業で担当者様は下記事務局まで電話・FAX・メールにてお申し込みください。なお、参加 NPO については裏面をご覧ください。

主 催／福島県

事務局／ふくしま地域活動団体サポートセンター（マッチング事業担当：後藤）

〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL. **024-521-7333** FAX. **024-523-2741**

E-mail. **f-matching@f-saposen.jp**

運営委託／福島県企画調整部 文化スポーツ局 文化振興課

運営受託／認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

< 表面 >

※チラシの PDF データは http://bit.ly/h30mch_kigyochirashi でダウンロードできます。



福島県主催 平成 30 年度 「NPO と企業等のマッチング事業」

NPOと企業とのマッチング会

11 月 13 日（火）会津アピオスペース

11 月 14 日（水）郡山ミュージカルがくと館

11 月 15 日（木）いわき産業創造館（ラトブ6階）

各マッチング会に参加する NPO 団体リスト

	NPO法人名	URL	団体の活動概要	協働提案・企業への協力をお願い	マッチング会 参加会場(予定)
1	翼賛様 エコツーリズム協会	eco-urabandai.com	磐梯山周辺エリアのエコツーリズムの 推進と環境保全	・団体作成のチラシ広報物の設置・情報発信協力 ・外來植物駆除活動のボランティア協力 ・案内板整備・トイレ等施設整備への協賛	会津/郡山
2	いわき イルミネーション プロジェクトチーム	iloptbiz	いわきでのイルミネーション事業による、 地域振興・観光資源開発・地域コ ミュニティの形成	・「未来へつなぐ光プロジェクト」の広報や 情報発信への協力 ・ボランティア協力・協賛	郡山/いわき
3	ザ・ピープル	npo-thepeople.com	住民主体のまちづくりを目標として いわきの様々な社会課題解決のため の活動	・フードバンク事業への食品提供キャンペーン活動 「フードドライブ」への協力 ・企業内での「フードドライブ」実施依頼	郡山/いわき
4	ツークンフト ロカール	zukunft-lokal.org	いわきエリアでスポーツクラブを核とし た地域コミュニティの形成	・平成31年度いわき市湯本に開設予定の古民家を 改装したコミュニティ拠点への人的な運営協力 等	いわき
5	いわき 崎さくを守る会	nakisuna.com	観光資源として貴重ないわきの「崎さく の浜」の環境保全と次世代に引き継ぐ ための活動	・ICTによる情報発信の協力・イベント等への ボランティア協力 ・船橋マネジメント指導など団体運営への協力	いわき
6	青雫	npo-homepage.go.jp/ npoportal/detail/ 007001063	いわきで発達障害等の子どもたちの学 習面・生活面での自立支援	・団体活動へのボランティア協力 ・活動広報の協力・活動資金の援助	いわき
7	ビーンズふくしま	beans-fukushima.or.jp	不登校や引きこもりの若者の自立支 援、子ども食堂等の運営 ほか	・自立を目指す若者の職場体験やボランティア作業の 受け入れ先の提供 ・子ども食堂の運営協力・広報協力・資金協力	会津/郡山/いわき
8	サポートクラブ キャロット	npo-homepage.go.jp/ npoportal/detail/ 007000506	郡山で障害者自立支援のための 「就労継続支援B型作業所」の運営	・作業所へのチラシ封入・シール貼り・軽作業の依頼 (安定的な仕事依頼)	郡山
9	ココネット・mam	coconetmamu.net	郡山で母親目線での子育て支援 のための活動を実施	・現施設のリフォームへの提案 ・活動の広報協力、子育て支援に係る物品等の提供	会津/郡山/いわき
10	真善美	sin-zen-bi.or.jp	福祉型大学「郡山カレッジ」運営 障害者健常者コミュニティの場の提供	・「特別子会社」設立への協力 ・重症心身障害者施設への人的・物的・資金的な協力	会津/郡山
11	ITCふくしま	itc-f.com	中小企業の IT 経営の推進、IT 人材の 育成	・企業内の IT 研修・セミナーの開催 ・企業の IT 経営相談の受託	会津/郡山
12	いいざか サポーターズクラブ	izakasupporters.com	飯沼温泉とその周辺エリアの温泉や自 然等の地域資源の活用による街興しと それに尽力する人材の育成	・活動の広報協力・参加者の提供 ・新規事業への企画・運営など協働の取り組み	郡山
13	ほっとハウス やすらぎ	npo-homepage.go.jp/ npoportal/detail/ 007000418	会津若松での障害者自立支援のための 「就労継続支援B型作業所」の運営	・平成31年度ごろ開設予定の 障害者コミュニティカフェの運営支援 ・現活動の広報協力、ボランティア等人的協力	会津
14	ピーターバン ネットワーク	aizu-pipanet.or.jp	会津美里町とその周辺での障害者支援 としてバイオディーゼルの燃料製造、井 当屋・パン工場 など	・ピーターバン支援会への協力 ・バイオディーゼルのための廃油の提供、広報支援 等	会津
15	会津 コンピュファーム	facebook.com/ compufarm	会津若松や会津美里町等でのパソコン セミナーの実施による ICT スキル獲得 の支援（高齢者にも対応）	・企業の新人研修としてのパソコンセミナーの実施 ・社員と家族のパソコンセミナーへの参加の広報 等	会津
16	小野自然倶楽部	facebook.com/ onoshizenclub (制作準備中)	自然森林公園（小野町ふれあいの森） を活用した子どもの健全育成	・子どもの健全育成活動への広報支援、人材支援 ・事業企画運営支援 等	郡山

上記、各団体の内容は平成 30 年 10 月 14 日現在のものです。マッチング会本番では提案内容の追加・修正等がある場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、内容詳細につきましては当日、各団体のプレゼン聴取後に個別に団体とお話しいただくことが可能です。また、マッチング事業 WEB にて昨年度の事業報告書をご覧ください。https://fnpo-matching.f-saposen.jp/

事務局／ふくしま地域活動団体サポートセンター（マッチング事業担当：後藤一光）

TEL 024-521-7333 E-mail f-matching@f-saposen.jp

<裏面>

※チラシの PDF データは http://bit.ly/h30mch_kigyochirashi でダウンロードできます。

チラシの主な配布先・・・

- 事前アンケートで「NPO との協働に興味がある」と回答した県内企業へ 73 社
 - 福島（150 社）・郡山（5400 社）・いわき（4000 社）の商工会議所会員へ 9,550 社
 - 会津若松法人会の会員へ 1,100 社
- 合計 約 10,700 社

平成 30 年度 NPO と企業等のマッチング事業

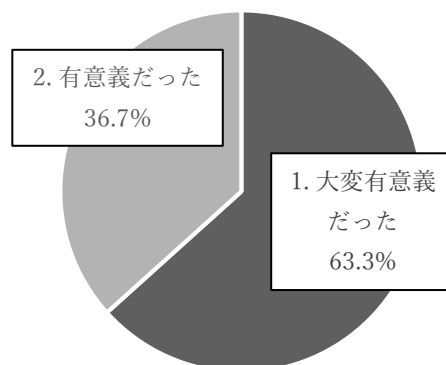
「NPO と企業とのマッチング会」アンケート集計（参加 NPO 編）

◆参加団体…14 団体、計 32 名

◆アンケート回答者数…31 名（回収率 96.9%）

1. 今日のマッチング会に参加した感想はいかがですか？

	回答数	%
1. 大変有意義だった	19	63.3
2. 有意義だった	11	36.7
3. ふつう	0	0.0
4. あまり良くなかった	0	0.0
5. 良くなかった	0	0.0
計（無回答を除く）	30	100.0

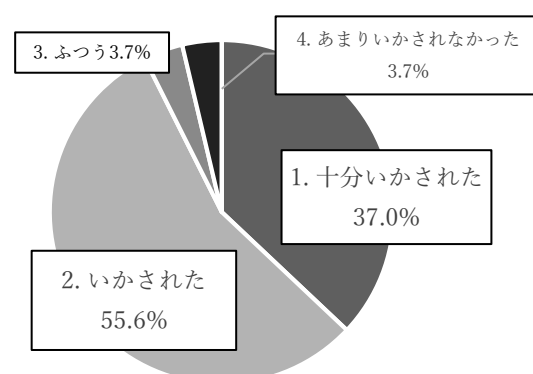


- NPO と連携したい企業があることを知り、認識を新たにしました。
- 具体的な取り組みにつながることはなかったが、何かしらの可能性があると感じた。
- 会津なので難しいかと思いましたが県内全域で活動されている企業様がいらっしゃった。
- 団体のことを話す機会を持てたこと。企業さんにつながることに有意義でした。これまで考えたことがない分野の方と繋がれた。
- 子どもたちに体験させてあげたい！とワクワクすることや、企業さんとのつながりへの気持ちがますます高まった。
- 準備不足な面が多々あったものの、アイデアが生まれ、いい営業が出来ました。
- 各企業のお話が聞けた。
- 異業種との交流ができたこと。
- 発表の後の面談の中で、発想が豊かなものに繋がった。自分が考えている以上のものを作っていくことの貴重なヒントになった。
- 各企業さんも熱心に聞いて下さり何が出来るのか？と具体的なお話もあった。ありがたかった。
- 企業数が多く、主催者に感謝。
- 障害者の実情を話す良い機会だった。
- 企業さんが多く、色々な可能性が見えてきた。(悩みの 1～3 まですべてにおいて)
- 色々な職種の企業さんのお話が聞けてとても勉強になった。
- 我々の事を知って頂くとても良い時間だった。

- もう少し時間が欲しい。
- 協働の枠が広がった。資金やマンパワー以外にも提供していただけることがあることを知りました。ただ企業様へお返し出来ることがあるかを考えさせられた。
- 立ち上げ後、プロジェクトを改めて見直すことが出来た（原点回帰・初心に戻るきっかけになった）。
- 初めての参加でしたが、十分参考になった。
- 普通は企業と話す機会は少ないので大変良かった。
- 他団体の目的、活動方針など参考になった。
- 今まで知らなかった融資について話が出来た。郡山の信用組合さんとおつないでいただけることになったので。
- 視野が広がった。
- 企業や NPO の活動内容が分かった。

2. アプローチ講座やプレゼン講座で学んだことは今回のマッチング会で活かされましたか？

	回答数	%
1. 十分いかされた	10	37.0
2. いかされた	15	55.6
3. ふつう	1	3.7
4. あまりいかされなかった	1	3.7
5. いかすことができなかった	0	0.0
計（無回答を除く）	27	100.0



- 他団体のプレゼンを聞くことで自分のプレゼンを客観的に見ることができ、次の改善に繋がった（繋げたい）。
- 伝えるのは難しいですね、がんばります。
- まだまだパワポも話し方も改善できるところがあると思ったので。明日に生かしたいと思います。
- 前2回の講座を受講できなかったものの個別に対応していただき資料作成が出来ました。
- マッチングを取るには、なかなか難しい面がある。
- 何を重点的に時間内で訴えられるかが鍛えられたこと。
- 伝えたいポイントをもう少し上手に話すことが出来ればよかった。マッチング会のおかげで自分の想いが整理できたことが良かった。
- テーマを絞ったことによって逆に難しくなったような気がするが、短い時間でどう伝えていくか技術面を磨くことが出来た。

- プレゼンの仕方・方法。
- 7分以内で話すために、講座で学んだことを振り返り余計なところを省くことができた。
- 7分は短く大変でしたが、その後に各企業さんとの対面があり、有意義であった。
- 1回目参加できなかった。夏休み中のため、忙しい。
- 発表者の時間配分が良くなった。ただ面談の際もプレゼンのようになってしまったのでもっと質問を受け付けたかったです。
- 自分たちの企業を整理するきっかけとなった。
- 時間配分・緊張感を事前に感じることができ、良かったと思う。
- 団体の活動内容が分かりやすく伝わった。
- 各法人のプレゼンが統一されていた。
- 準備不足を痛感。
- 様々な団体のプレゼン資料を拝見し、勉強になった。

3. 引き続き話をしたい企業はありましたか？（複数企業可）

株式会社エヌ・エス・シー と

- パンと弁当の販売、ショップでの販売促進品（クッキー、マドレーヌなど）の販売についてなど。後日、事業所に伺うことになりました。
- 職場体験、職場見学について。

株式会社オグラ と

- これから考えているカフェ店内の遊び（積み木など）や、椅子・テーブルなどの材料として活用できる可能性があること。
- 子どものキャンプ先としていくことができるかも。その中で職場体験をする・背板を使っ
ての工作等受け入れできるといっていただいたので。
- 自然体験（木材加工～宿泊）ができそうだなと魅力を感じました。
- 木工製品など何か協働での製作ができたら良いと思いました。

株式会社シネマとうほく と

- 県北地域等で自主上映イベントへのアルバイト派遣について。
- 今はそのような企画はないが子どもに映画の仕組みや作り方を教えるワークショップが出来るかもと言っていたので。
- 同じような取り組みをしている他県の事例の情報提供をいただき、大変良かった。今後も上映に関することや活動事例など教えて欲しい。

伊達貨物運送株式会社 と

- 職場体験、職場見学について。
- 空いている倉庫などを、施設に利用できないか。

株式会社共和建商 と

- 子ども食堂への協力について。

学校法人開成学園 郡山女子大学 と

- 学生との交流で利用者の心を開けるかも。
- 学生のボランティア授業に繋がる可能性がある。
- 郡山女子大の皆さんの自然体験等に利用していただければありがたいです。
- 子ども食堂への協力について。

有限会社郡山島田海苔店 と

- 職場体験、職場見学について。
- 「海苔にシール貼り」の具体的な話ができたので。
- 職場体験で子ども達に海苔を作る工程を知る体験につなげられたらと思いました。

有限会社クローバーコンサルティング と

- 「アパート清掃」の具体的な話ができたので。
- 子ども食堂への協力について。

エヌケーテック株式会社 と

- エヌケーテックさんの学生さんと何かコラボができないかと思いました。
- マナー研修などもやって頂けるとのことだったので。
- 職場体験、職場見学について。

いわき信用組合 と

- 有意義な情報交換ができた。
- 今後開催される企業の交流会で、プレゼンする機会を頂けることになりました。

株式会社ソーシャルスピーカー と

- 有意義な情報交換ができた。
- FB や HP でアドバイスいただけそうなので。
- 情報発信について、勉強したい。

合同会社いわきコミュニケーション振興グループ と

- 有意義な情報交換ができた。
- 子ども食堂に興味を持たれていました。視察や寄付、いわきでの自主開催など。

全ての参加企業 と

- お話をする時間が少なく、深く下げられませんでした。各企業の方々との接点は期待できると感じました。
- 企業・個人として植林などのマンパワーに興味を持っていた。
- 子どもの職場体験やワークショップという点では、全ての企業さんと実現の可能性を見

出すことができたので。リーフの作成や HP も希望が見えてきました。

●他の企業さんにもこれからのイベント情報等の情報提供をしていきたいと思います。

4. その他 何かありましたら記入をお願いいたします。

●色々ご配慮いただきありがとうございました。

●貴重な体験、時間でした。

●特にパンや弁当、焼き菓子の販売につなげることが出来ました。企業側の事業情報や資料があれば良かったです。

●これからの企業との連携が楽しみです。

●エキサイティングな内容でした！楽しかったです。

●お疲れ様でした。

●チームとしても色々勉強になりました。

●いわき市内だけでなく、可能であれば県外でもマッチング事業のイベントを行い、県内外含め大卒でやって欲しい。どうしても市内県内に限られると成果につながりづらい。

●このような場を設けていただきありがとうございました。

●ありがとうございました。またお声掛けください。。

●3日間本当にありがとうございました。

●各業種の企業さんだけではなく NPO の方々とも出会い活動を知る事が出来た。

●今後の活動への意欲へと繋がりました。貴重な経験ありがとうございました。

●3日間お世話になりました。これまで無縁だと思っていた企業の方とつながる機会をいただきありがとうございました。発表するにあたって講義をしていただいたり、練習させていただいたので少しは（ほんとうに少し）自信をもって話が出来ました。

以上

平成 30 年度 NPO と企業等のマッチング事業

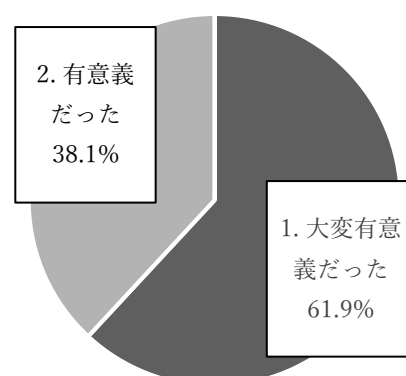
「NPO と企業とのマッチング会」アンケート集計（参加企業編）

◆参加企業…20 社、計 24 名

◆アンケート回答者数…21 名（回収率 87.5%）

1. 今日のマッチング会に参加した感想はいかがですか？

	回答数	%
1. 大変有意義だった	13	61.9
2. 有意義だった	8	38.1
3. ふつう	0	0.0
4. あまり良くなかった	0	0.0
5. 良くなかった	0	0.0
計（無回答を除く）	21	100.0



【大変有意義だった】

- いろいろな思いを持って活動していることが理解できました。
- 市民活動と対等平等な関係に改めて意義を向けられた。我社にとっては永遠の課題と考えています。
- 大変勉強になりました。
- 教育機関として何か役立つ事をぜひとも提案したい。
- NPO の皆さんと事務局が直接話す機会はほとんど無い為、有意義だった。
- 情熱を感じ、具体的に行動している皆様にパワーをいただきました。
- NPO の方々の熱い想いを聞けて、改めて自身に置き換え、身の締まる思いです。
- NPO の方の生の声を聴くことが出来、参考になりました。
- NPO で活動している内容が良く分かりました。少しでも協力できるように考えていきたいと思います。
- 皆さん行動している。
- これまで別の場で活躍してきた NPO と企業が一堂に集まるという場を見させていただき、刺激になった。
- NPO 支援に対するプレゼンが出来たため。
- 市内外の NPO 法人の方と出会う機会を得られました。

【有意義だった】

- 自社の眠っていた資源をマッチングによって世に出せるかも。
- これまで知り得なかった NPO 活動を認知するよい機会でした。
- 生の声をお聞きする良い機会を得ることができました。
- NPO 団体の方の考え方等を聞くことが出来ました。役に立てることを考え、提案させていただきたいと思います。
- 企業として人材育成の場が増えたかと思います。
- NPO 団体の取組みや、様々な情報を聞くことが出来、企業と NPO で何が出来るのかを考えさせられる良い機会となりました。
- いろいろな NPO 団体の話が聞けたこと。

2. 興味のある団体はありましたか？（複数団体可）

NPO 法人 裏磐梯エコツーリズム協会 について

- 弊社の CSR の一貫として、ボランティアに社員を参加させていただいても良いと思いました。
- 先方の広報活動と弊社のボランティア、人材育成の場の提供が可能な団体かと思われます。
- 仕事とは関係ありませんが、活動している内容が今の時代に合っているなと思いました。近所でしたらお伺いしていますね…。
- 個人的にも裏磐梯でお世話になっており、何かご協力していきたい。
- 活動に興味がある。
- 今まで継続して取り組んできた環境保全活動で具体的に協力できるから。

NPO 法人 ツークンフトロカール について

- 弊社も行政と地域を混ぜ込んだ新事業を考えているところでしたので、とても参考になりました。
- 自分たちの地域が活性化しそうだから！

特定非営利活動法人 ビーンズふくしま について

- 所在地が弊社と近接している為。
- 就労体験などすぐに協力できることがあります。ぜひ今後の活動頑張ってください。全ての団体、頑張ってください。
- 活動への協力対応が可能ではないかと考えてました。

特定非営利活動法人 ココネット・マム について

- 素晴らしい活動をスタッフにも伝えていきたいと考えています。
- 豊かな自然の自社資源を活用してもらえるかも。

- 何か活動のお手伝いが出来そうです。
- ご近所でもあり、色々と協力できると思います。

特定非営利活動法人 真善美 について

- 活動に興味がある。

特定非営利活動法人 ほっとハウスやすらぎ について

- 地域を包み込むような関係づくりに大きな可能性を感じられた。
- 製材の背板を活用してもらえるかも。

特定非営利活動法人 ピーターバンネットワーク について

- 会議用の弁当、パンの移動販売のお付き合いが可能と考えています。

特定非営利活動法人 小野自然倶楽部 について

- 同地区内で、私自身スポーツ少年団を運営しているので、今後関わっていきたい。
- 今まで継続して取り組んできた環境保全活動で具体的に協力できるから。"
- 活動に興味がある。

参加 NPO 団体全て について

- お聞きしたすべての活動に興味がある。

3. その他 何かありましたら記入をお願い致します。

- 大変素晴らしい取り組みだと思います。
- 意外と面白かった。
- 全ての団体様の声をしっかり持ち帰り、出来ることから関わらせて頂ければと思います。可能性を狭く捉えないで検討させていただきたく思います。
- 今日の出会いをスタートとして進んでいけたらと存じます。
- いいざかサポーターズクラブさんは、自社グループが茂庭ダムに植林しているので合同で何かやれば良いかも…。
- 今日はありがとうございました。
- 有意義な時間を過ごせました。ありがとうございました。
- NPO と企業のマッチングの場に、行政の担当が加わることによってより良い成果につながるのではないかと感じた。
- 今後も連携くださいますよう、お願いいたします。

以上

6 マッチング会における参加NPOのプレゼン資料

本事業の流れとして

- ①「NPO アプローチ講座」(8月実施)にてプレゼン資料作成
 - ②「NPO プレゼン講座」(10月実施)にて企業へのプレゼンのための手法の取得および練習・リハーサルを行う
 - ③「NPO と企業とのマッチング会」(11月実施)にて NPO から企業へ向けて実際に協働に関するプレゼンを行う
- と進めたが、その際に使用した参加 NPO のプレゼン資料を以下に示す。

<参加 NPO 15 団体> ※ 団体番号 11 番は諸事情により途中棄権

- 01■ NPO 法人裏磐梯エコツーリズム協会
- 02■ 特定非営利活動法人いわきイルミネーションプロジェクトチーム
- 03■ 特定非営利活動法人ザ・ピープル
- 04■ NPO 法人ツークンフトロカール
- 05■ 特定非営利活動法人いわき鳴き砂を守る会
- 06■ 特定非営利活動法人青陽
- 07■ 特定非営利活動法人ビーンズふくしま
- 08■ NPO 法人サポートクラブキャロット
- 09■ 特定非営利活動法人ココネット・マム
- 10■ 特定非営利活動法人真善美
- 11■ (欠番)
- 12■ 特定非営利活動法人いいざかサポーターズクラブ
- 13■ 特定非営利活動法人ほっとハウスやすらぎ
- 14■ 特定非営利活動法人ピーターパンネットワーク
- 15■ 特定非営利活動法人会津コンピュファーム
- 16■ 特定非営利活動法人小野自然倶楽部

01 ■ NPO 法人 裏磐梯エコツーリズム協会



●設立のきっかけ

- ・平成15年
裏磐梯が環境省のエコツーリズム推進モデル地区に選定される
- ・平成19年
住民が主体となって任意団体を設立する
「エコツーリズム入門国立公園」として自然や歴史、文化等を掘り起こし、深く学ぶ場として地域活動を展開する
- ・平成29年9月
活動を継続することにより、持続可能で豊かな地域作り推進と次世代への宝の継承を目的に、NPO法人を設立

●団体の目的

磐梯山周辺地域における エコツーリズムの推進

- ◆「自然環境の保全」
- ◆「観光振興」
- ◆「地域振興」
- ◆「環境教育の場としての活用」

共有する	資源を探して磨き 価値を共有する
伝える	資源の価値の情報発信
守る	資源の利用によって自然や文化が傷つかないように守る
興す	資源を活用して産業を興す



地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

【モニタリングの成果】

- ・五色沼が眺めよく見渡せるように環境省に訴え、展望デッキの設置につながった
- ・希少な植物や裏磐梯湖沼群の水質、登山道整備の重要性を理解できた
- ・モニタリング報告書を作成し、有識者を招いて検討会を行うことにより、具体的な提案を受けることができた

【外来種駆除の成果】

- ・日本の在来種を守った
- ・農協さんから理解を得られ、チラシを組合員の配布資料として配った
- ・外来種の駆除と同時に調査も行い効果的な駆除のタイミングなどを確認できた
- ・子ども向け講座を行い、環境学習に役立っている



協働に向けて【磐梯山でのCSR(企業の社会的貢献)】

悩みや困りごと

- ①情報発信・広報の不足
「安全のしおり」等の未作成
冬山入山に対するルールの未作成
SNSでの発信が不十分・技術力の不足
- ②マンパワーの不足
外来種の繁殖力が強く思うように進まない
- ③登山道整備や保護看板の不備
行政に要請しても迅速な対応が得られない
- ④資金不足
作業員の経費や整備の資材等がない

お願いしたいこと

- ①協働での情報発信
「安全のチラシ」「啓発用パンフレット」等の共同作成や、SNSでの情報発信をお願いします
- ②企業のCSR(企業の社会的貢献)活動
社員の皆さんの社員研修として磐梯山で駆除活動を行いましょう！
- ③資材の提供
磐梯山の木道、標識看板、トイレブース確保の材料・トタン・金物などの資材をご提供ください
- ④資金の補助
登山道、木道、トイレブース、駐車場駆除活動、冬山入山ルール作りに必要な資金提供をお願いします



このプレゼン資料は

http://bit.ly/h30mch_01urabandai

からもダウンロードできます。

02 ■ 特定非営利活動法人 いわきイルミネーションプロジェクトチーム



設立のきっかけ

マスコットキャラクター ヒカルン(光の妖精)

被災地で暮らす人々の癒しや安らぎ、元気を与えられる場を提供するとともに、風評被害を払拭する新たな観光事業につなげたい

原発事故の風評被害で苦しんでいる被災地に灯すイルミネーションは、再生可能エネルギーの電力で灯したい

平成26年9月設立

団体の目的

東日本大震災後のまちづくりの一環として、**イルミネーションと再生可能エネルギーの普及促進**の2つを柱に、いわき市の復興事業や地域振興に寄与することを目的とする。

私たちの思い、考え

▶地域の課題

- 心の復興はまだ道半ばである。
- 市民が楽しめるレジャー施設が少ない。また秋以降は家族で楽しめる催し物が少なくなる。
- 若い世代が希望する就職先が地元が少ない。
- 原発事故やその風評被害に相反して再生可能エネルギー推進への気運が中々高まらない。

★目指す地域の姿

- 世代を超えて笑顔で集える交流の場がある
- 風評被害を払拭する新たな観光事業の存在により新たな雇用を創出している
- 生活電力を可能な限り再生可能エネルギーで賄える
- 地域の宝である再生可能エネルギーを市民発電所から供給し、その恩恵を市民へ還元できる

活動紹介

事業の2本柱

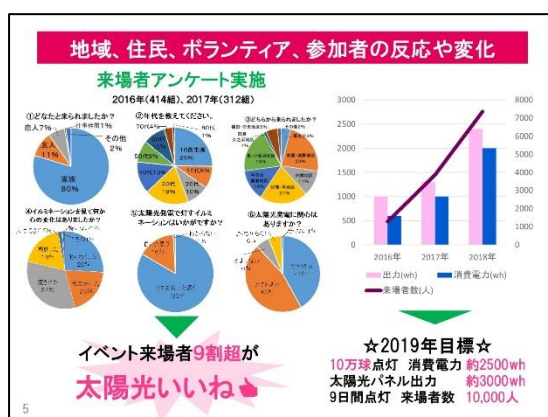
- 再生可能エネルギー部門(自主)
 - 売電(太陽光発電所) 普及・促進
- イルミネーション部門
 - 自主
 - 受託
 - 請負

未来へつなぐ光プロジェクト～太陽の光を力に～

太陽光パネル製作教室 等 冬季イルミネーション点灯(21世紀の森公園) イルミネーションモチーフ制作教室 等

高エネルギー利用事例の一環として、再生可能エネルギーのひとつである太陽光発電の電力を利用し、イルミネーションを市内へ灯すプロジェクト。その点灯の場を21世紀の森公園としている。その会場の一部には、市民の手作り太陽光パネルで市民のイルミ作品を灯すコーナーも設け、市民参加型としている。

太陽の光をイルミネーションの光として可視化することで、来場者に再生可能エネルギーの力を体感していただき、再生可能エネルギーの関心を高める場とする。



協働に向けて

活動・経緯での悩みや困り事

- イベント時の人員不足 (スタッフ、駐車場整備・受付・設置・撤収作業等)
- 活動資金不足 (イベント開催資金に充てる為、個人・団体会員募集の際の「広報・宣伝」)
- イルミ作品保管場所の確保 (8~10畳程)

企業にサポートしてほしいこと

- イベントの告知・運営
 - ・(報道・ポスター・チラシ設置、企画、人材サポート・シャトルバスの運行 等)
- 環境整備資材の貸し出し
 - ・(足場・杭・ロープ・ネット・音響機材等)
- 活動資金支援
 - ・(例 撮影スポット制作のスポンサー等)
- 資材保管場所の貸し出し
 - ・(倉庫の一部又は倉庫が置ける程度の土地)

イベントの長期開催 イベントの規模拡大が難しい

企業に向けてメッセージ

このプロジェクトが被災地で暮らす人々の癒しや安らぎ、元気を与えられる場としてお役に立てるのではないかと。また、風評被害を払拭する新たな観光事業として成り立つのではないかと。そのような想いで私たちは日々活動しております。

私達の活動と連携していただくことは、想像力の向上、未来への知見、日々の充実感の獲得につながり、また、そのことによって従業員様の意識改革を起こし、企業そのものをアップデートしていくことになると確信しております!

それはすなわち…
仕事2.0人生100年時代へ対応する力を得ることができるということです!!

このプレゼン資料は

http://bit.ly/h30mch_02iwakiillmi

からもダウンロードできます。

03■ 特定非営利活動法人 ザ・ピープル

特定非営利活動法人 ザ・ピープル

理事長 吉田恵美子



フードバンク
いわさ
特定非営利活動法人
ザ・ビーブル

●設立のきっかけ

1990年いわき市が派遣した女性ばかりの海外視察団第1回「いわき女性の翼」団員として集まった女性たちの中から、共通の問題意識を持つ者がボランティアのサークルを立ち上げ、身近な問題に取り組み始めました。当時のメンバーは理事長一人しか残っていませんが、思いははずっとメンバーたちに受け継がれています。

●団体の目的

この法人は、自分たちが住むまちの問題を自分たち自身が考え、その解決のため主体的に行動する、そうした住民の存在がこれから
の地域を支える基盤であると考え、「住民主体のまちづくり」を進める
ことを大きな活動の目的とします。また、「地域」に対する意識を広げ、
地球市民のひとりとして自分たちの果たすべき役割を担うことを目的
とします。

特定非営利活動法人 **ザ・ピープルの**
目指すもの＝住民主体のまちづくり



今回の協働を求める私たちの思い

▶地域の課題

- 震災から7年半がすぎ、復興は完了したという認識が広がる地域社会の中で、取り残されていく人々の存在

- 震災起因などによる生活困窮者の増加の見通し

- 行政が実施するフードバンク事業の対象者の限定・・・
行政では8歳以下の子供のいる家庭を対象を限定一度対象と認められると期限を切らずに供与

行政による福祉サービスに結びつくまでの間の隙間を埋める存

目指す地域の姿

対象を限定しない民間主導によるフードバンク事業の立ち上げ



社会の中で生活に困った時、もう一度立ち上がるまでの期間、行政が用意した福祉サービスに結びつくまでの間、食のサポート受けられ、安心して準備を進められるような社会を！

フードバンクいわき 活動紹介

●不要の食品を企業や個人の方から募ります

食品加工会社やスーパーマーケット、小売店、農家、個人の方から様々な理由で不要となり、廃棄処分せざるを得なくなった食料品の寄贈をお願いします。食品回収のため**フードドライブ**を実施します。

●集められた食品を管理します

本部施設内に食品備蓄用の施設を整備し、賞味期限を確認できる状況で保管します。

●寄贈いただいた食品を困ってい

る方々へお届けします
社会福祉協議会や生活困窮者支援団体などを介して、寄贈いただいた食品をお届けします。

今年度いわき市小名浜地区を対象として立ち上げ、スタッフ5名で試験運用をしています。



フードドライブに力を入れています

食品の提供を呼びかけるキャンペーン活動を**フードドライブ**と呼びます。フードドライブへの関心を寄せてくださる方が少しずつ増えています。



協働に向けて

しかし、一方には生活困窮に陥る原因は本人の努力不足で、同情すべきものではないといった偏見や、行政の用意する福祉サービスで十分だという考え方もあり、支援の手を差し伸べるのを控える方も少なくありません。逆に、困窮状態に陥ってもSOSを発することにためらいを感じてしまう人もあります。

こうした問題を解決するためには、できるだけ多くの人々にフードバンクについて知っていただく機会を持つことが必要です。

企業の皆機とご一緒できる部分があるのではないのでしょうか？

社食deフードドライブ

社内の日常の中で、フードバンクに食品を提供する機会を設けてみて頂けませんか？

スタッフが、昼食時にフードドライブキャンペーンセットを社員食堂に持ち込み、社員の皆さまに自宅で眠っている不要な食品をお持ちよりくださるようお願いしています。そして、いずれは社員ボランティアの皆さまによる運営をお願いできたらと思います。



このプレゼン資料は

http://bit.ly/h30mch_03thepiople

からもダウンロードできます。

04■ NPO 法人 ツーケンフトロカール

～豊かさの創造～

NPO法人ツークンフトロカール
理事長：大田原邦彦

Copyright © 2017 Zukunfit Lokai

Sport

5 これまでの日本のスポーツ感からの脱却

グラウンド、体育館、市民運動場での活動



球団・スポーツ団体は、企業の広告塔・・・興行、芸能活動
 プロスポーツの姿として疑わなかった「プロ野球」「実業団スポーツ」モデル
 バブル崩壊後のスポーツ界 企業の一方的な都合により撤退、休廃部

Jリーグの誕生：企業主導型からの脱却、社会貢献
 「Jリーグ百年構想 ～スポーツで、もっと、幸せな国へ～
 プロスポーツ団体が掲げる地域密着型のスポーツ活動とは？

アマチュアの総合型地域スポーツクラブは、業績悪化という理由で
 撤退・廃業しても良いのか？

Mit Ball Sports | Copyright © 2017 Zukunsti Lokai 3

§ ヨーロッパ諸国が行うスポーツ コミュニティスポーツ

「スポーツは文化だ!」と
断言するEUのスポーツクラブ

「Sport」は、人々・社会をつなぐ
「ツール(道具)・キーワード」

◆ Sportとは公共性のある活動を通して
公益 と GOL を上げる文化活動

豊かに生きるための道具・手段

- ・ スポーツ・フォア・オール政策(ドイツ)
- ・ 2010年フリアカW.CUP (FIFA)
- ・ 東日本大震災サポート事業 (DFB:AufBallhöhe)

Anpfiff ins Leben e.V.
Sport/Schule/Beruf/Soziales

遊びの場、学びの場、育ちの場、社会参加の場

何が話し合われているの?? 地域課題

スポーツ文化
子ども達、市民の夢
と笑顔創りを楽しむ
活動

地域力 地域教育力の
向上

子ども達の
居場所

子ども達の
貧困

町のお
祭り

高齢者の
生きがい

高齢者
介護

ニート

雇用の
創出

地域商
店街と市
民活動

スポーツクラブe.V.
総合型地域スポーツクラブ

- ・市民が運営するNPO団体による地域振興活動
- ・スポーツレレニングを通して：情報収集力、判断力、決断力、実行力を養い、自信に満ちた青少年育成
- ・クラブで育った人材（アスリート・アーティスト）が、地域振興を行う。

公共性のある活動を通して
公益を上げる

自分たちの町は、自分たち
の力で創生する。

MIR Ball Sports Copyright © 2017 Zukunsti Lokal 5

クラブ文化による ～豊かさの創造～

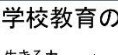
日本におけるクラブ文化の創造

学校教育の限界

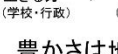
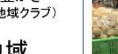
生きる力 ≠ 豊かさ
(学校・行政) (地域クラブ)

豊かさは地域
クラブで育まれる




















5 豊かさを創造する協働事業

◆げんKids Community Sport「地域力(クラブ文化)＝豊かさ」

◆クラブネージャーの育成、スポーツを社会福祉活動の一環としてマネジメント
◆企業の参加：源社の子育てを生かしたTraining活動(遊び場)の協働開発

ステークホルダー	インプット	アウトプット	短期	中継	長期
市民・会社員 子ども、若年 高齢者	資金 資金、拠出金	子ども U-23 O-24	交流の場 交流の場 交流の場	定かなる 再発見	QOLの向上
総合クラブ	スタッフ 市民、学生	スポーツ 文化 活動推進 活動推進	文化活動 文化活動 文化活動	夢や思いの 確認	地域課題解決や 福祉活動の 発信
ボランティア スタッフ	専門知識・スキル ボランティア ボランティア ボランティア	国際交流 通訳 通訳 通訳	国際交流 国際交流 国際交流	組織体制の 確認	クラブ・マネー アドバイザー アドバイザーの 育成
【企業】 (の 業 界 関係)	大学 大学 大学	ボランティア 活動 ボランティア 活動	ボランティア 活動 ボランティア 活動	市民交流 市民交流 市民交流	夢の自己実現 自己実現 自己実現
【イベント情報】 e.V.クラブ 日曜学校	社会協賛・後援 社会協賛・後援 社会協賛・後援	ボランティア 活動 ボランティア 活動	ボランティア 活動 ボランティア 活動	企業・法人の 社会貢献 社会貢献	ボランティア活動 ボランティア活動 ボランティア活動
総合・行政・社協 NPOセンター	施設・土地、体育 館、校舎	学習活動 学習活動 学習活動	学習活動 学習活動 学習活動	総合スポーツ クラブの 推進	ボランティア活動 ボランティア活動 ボランティア活動

このプレゼン資料は

http://bit.ly/h30mch_04tukunft

からもダウンロードできます。

05■ 特定非営利活動法人 いわき鳴き砂を守る会

特定非営利活動法人 いわき鳴き砂を守る会

発表者 事務局長 小堀 亨





鳴き砂がある海岸の多くは日本海側にあり
太平洋側では、根拠島がほぼ南端になる

- 設立のきっかけ
- 鳴き砂研究がきっかけ
- 平成8年7月に「鳴き砂並びに、その保全について研究すること」などを目的として設立。かつていわきの白砂青松の砂浜には、多くの「鳴き砂」があったと言われているが、今では景観の素晴らしい豊間海岸のほか数か所に残されている(東日本大震災後状況は変化)。このかげがいのない大自然の遺産である「いわきの鳴き砂」を大切に保存し、次世代の人々に引き継いでいくのが私たちの責任であることを自覚し、調査・研究を始めた。
- 団体の目的
- 次世代への継承
- 地域住民と共同で鳴き砂の浜の保護活動を行い、鳴き砂を健全な状態で次世代に引き継ぐこと。
- 砂を通してコミュニケーション活動
- 砂除教室、砂の優つくり、砂場遊びなどを通じてものづくりの楽しさ、鳴き砂の微妙な存在をアビールと環境保護の大切さを訴えていく。
- *** 鳴き砂の問題点
- いわきの鳴き砂は、ポケットビーチともいわれ、断片的に存在しているため、発見が難しい。

私たちの思い、考え

● 地域課題

○ 鳴き砂の法は減少傾向
全国に20ヶ所あり「鳴き砂」の法があります。50年くらい前には20ヶ所位ありました。環境汚染が進んできたのが原因ででしょうか。

→ マイクロプラスチックによる環境汚染

○ 鳴き砂の保護活動が必要
今ある鳴き砂の法を減らさない方に保護活動が必要ですが、化学技術の進歩とともに新たな汚染物質が表れている。

○ 太平洋側最南端の鳴き砂
いわきの海岸は、太平洋最南端の鳴き砂の法として貴重な存在であるが、住民の意識は高まっている。

● 目指す団体の姿、地域の姿

① 組織の基盤強化
→ 認定NPO法人を目指す。

② コミュニケーション能力や情報発信力を備えていく。

③ 自団体に解決不可能な社会的課題の対処法をマスターする。

④ ネットワークの有効活用
多様な企業等との協働事業で様々な問題を解決することが可能になる地域社会の創造を目指す。

⑤ いわきにジョバーク誘致活動
ジョバークには、「大地の公園」で地域の魅力を知り、素晴らしいを知ってもらい地球・自然の環境保護と大地などに笑みお活動する。地域の大きな環境保護の活動を進めていきたい。

3

活動紹介

- 1. 鳴き砂海岸の清掃活動**
年2・3組環境委員会中心に海岸の清掃活動を実施している。
- 2. 海岸でのイベントの開催**
トビタビ協賛（小田代シーガルフェス）、海岸清掃、鳴き砂・放射線量調査、砂の像作り、砂遊び等を行っている。
- 3. 砂絵教室の開催**
鳴き砂に着色して、砂絵を表現することで、奇奇怪々な活動に新たな風を吹き込んだ。市内の公民館・集会所やイベント等で開催。月に～2回程度実施している。
- 4. 学校等での出張講座の実施**
これまで、四倉小学校、海星高校での総合学習として、鳴き砂講座を実施している。
- 5. いわき駅前でのイベント開催**
今年で3回目「いわきブラージュ」
福島第一原発事故後、県外から逃がった子供たちに砂場を提供、いわき駅南側、多目的スペースに砂・0mを掘入れし「砂あそび場・砂像作り・砂絵教室・鳴き砂体験」3日間実施。2日目には、高校生によるフランドルも披露した。

平成30年度	3,500人
平成29年度	3,169人
平成28年度	2,648人


- 6. その他**
下記の団体との良好な関係・協働している。
NPO法人福島SAND・STQY
NPO法人いわき環境研究室


協働に向けて

活動・組織での悩みに困っていること

(1) **人材不足や資金不足などの問題がある**
砂浜の環境保全をするために、NPOとして活動しているが、その目的を定めてはいるのに資金は思い通りに集まらない。

① **専門知識の人材不足**
人材育成や資金調達・組織マネジメントについて、の専門知識のある人材が不足している。

② **広報力不足**
NPOの中心で市民活動フェスなど市況に計けたイベントの際に、十分な広報がされていない。

③ **情報発信力の不足**
WEBやSNSなどの活動内容の情報発信について、テクニカルな知識や情報がないという。現在、当会はホームページがダウンしている状態の事でも悩んでいる。

(2) **年間を通しての事業を模索**
現在の企業との協働事業は、1日の日程で終了してしまふ。持続性が無い。

→ **年間を通して長いスパンの事業を模索したい。**

企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

(1) **広報協力**
企業の販促活動や各地の支店営業所にて、NPOイベントやボランティア募集、寄付のお願いの告知などの広報の協力を依頼したい。

(2) **人材提供**
社会員の年齢の若年化している為、後方面でのご支援をお願いしたい。
市民団体の若者不足を感じており、その面での協力・協賛を頂きたい。

環境汚染・川にのみくき砂
環境汚染が400年ぶりに川の底に溜り込む時間が出て、底砂、川の砂に3割以上の石が混ざって、吸着剤などを使った環境汚染を吸着し、集めてまふ。此の汚染物質の環境汚染に、減少してしまふ。川の手前が、『砂くき砂を吸着したい』必要な人を集め、民生活動が1日に行動できる。結果は後述のように選んでいるのと期待します。

6

企業に向けてメッセージ

地域の社会的課題解決のために活動するNPO

↓

地域の社会貢献活動・環境保護活動を実施する企業

○今すぐには協働することは難しいかもしれませんが、少しずつ接点を持つことで、徐々に信頼関係を築き、やがては、みんなが幸せになる地域社会の創造に貢献できる協働事業として実施できると信じています。

○『NPO法人いわき鳴き砂を守る会』は、NPOと企業との接点を可能な限り多く作っていきたくと考えております。

○企業の皆様には今後とも
ご理解とそしてご協力をどうぞよろしくお願い致します。

7

このプレゼン資料は

<http://bit.ly/h30mch> 05nakizsuna

からもダウンロードできます。

06 ■ 特定非営利活動法人 青陽

特定非営利活動法人 青陽

発達障害児、グレーゾーンの子供達の
自立に向かって



●設立のきっかけ

- ◆発達障害、軽度の知的障害者、またはグレーゾーンの子供達・学生達の社会的自立支援
- ◆個人の持っているスキルを発表、アピールできる場所を作り、発達障害者への理解を深めてもらいたいと思っています。



●団体の目的

- ◆どんな人間にも磨けば光るスキルがあるものです。

・モノづくり
切り絵
レジン・アクセサリー

・音楽活動

発表の場・ワークショップ・ショップ

↓

社会と共存・自立

私たちの思い、考え

◆地域の課題

- ・発達障害、軽度の知的障害、健常者との境に位置するグレーゾーンにいても、磨けば健常者より高いスキルがあり、その能力を一般社会で役立てることができる。
- ・「障害」を「個性」と置き換えて、お互い支え合えばより豊かな生活ができるようになりますし、障害者の自立に大きく前進すると思います。

◆少しの理解と支えがあれば

- ・「こだわり」は反面、「指示されたことに忠実に」作業するという特徴があります。
- ・そこで制作した作品を見てもらったり、発表する場をすることで、障害者の社会参画の手助けができと思っています。

健常者と障害者が共に動ける場所を作ることが出来れば、理解が深まるのに...

活動紹介

①切り絵ワークショップ

②レジンアクセサリー

ワークショップでの
周囲の方たちとの
ふれあい



③演奏会、街なかコンサートでの音楽演奏活動

④放課後児童クラブでのイベント補助
(参加させてもらってます。)



地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

◆放課後児童クラブにインターンとして参加した学生

「子供達との接し方、支援が必要な子供への声かけの仕方を学ぶことができました。保育の勉強をしているので、実際に子供達と接する機会をたくさん持ててありがたいです。」



◆ワークショップ教室参加の子供達の声

「月に一回のレジン教室が楽しみです。自分だけのキーホルダーなどを作れるのが嬉しいです。」

「夏休みのカラー作り、遠足など友達と一緒に思い出が作れて良かったです。」



協働に向けて

◆活動・組織での悩み

困っていること

- ・障害者が能力を発揮できる場所づくり
⇒福利厚生の一環として
切り絵ワークショップ
レジンワークショップ 等
いかがでしょうか。
- ・作製した**作品の展示ブース、販売ブース**
- ・音楽活動を発表する場・案内広報を積極的に展開したい！
場を盛り上げる**音楽活動**、
季節に応じた曲目を選曲することもできます。

◆企業と協働したいこと

サポートしてほしいこと

- 体験活動
・切り絵：紙(厚紙、特に黒色)、色紙
・レジン：型、パーツ、UVライト
★材料等の補助
- 音楽活動
・活動の広報・啓蒙
・楽器購入の補助(ハンドベルなど)
- インターンシップ等の受け入れ
- 体験学習・演奏会・展示会・出店等の際の移動の助成
・交通手段
・移動経費
よろしく願いいたします!!

企業に向けてメッセージ

◆どんな子供達でもその一生は長いものです。
その子たちが自分のスキルを使って明るく、楽しく、自立して生活できる支えを、ぜひお願い致します!




このプレゼン資料は
http://bit.ly/h30mch_06seiyo
 からダウンロードできます。

07 ■ 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま

特定非営利活動法人ビーンズふくしま

福島事業部門長 江藤大裕



●設立のきっかけ

学校に行けない、学校に行きにくさを抱えた子どもたちのフリースクールから始まりました。学校に行けないというだけで、自信を無くした子どもたちにとって、ありのままの自分を認めてもらえる、「**自分は大切な存在なんだ**」という自己肯定感を育むことができる「**安心して暮らせる居場所**」が必要でした。ビーンズふくしまは、子どもたちが本来持っている「生きる力」を取り戻すことができる、そんな場所としてスタートしました。

●団体の目的

当法人は、不登校の子どもやひきこもりの青少年の親、市民、学生など広範な人々と協同して、不登校の子どもたちやひきこもりの青少年たちのために、その生き方と学習を支援するとともに、広く青少年が**自分らしく生きるための支援**を行い、それをもって社会の創造に貢献することを目的とする。



私たちの思い、考え

▶地域の課題

福島県の若年無業者(15歳～34歳)数 1万人/38万人
2.6%

不登校の小学生は1千人
当たり4・8人(総数3万1151人)、中学生は30・1人
(同10万3247人)

●目指す地域の姿

子ども×若者×高齢者
×NPO×企業×行政
すべてが繋がって、子どもや若者が生き生きとし、彼らの力が地域でいかされる社会を創りたい。

活動紹介



保育園お祭りボランティア



ビーンズ畑での畑作業



自分たちで収穫した野菜を使用したカフェの開催



子ども食堂の開催



夏休みサマースクール

地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

【若者】
・自信がない若者・対人関係に不安がある若者
・社会に出る不安が大きい若者

【子ども】
・貧困をはじめSOSを出している子ども
・学校や家庭に居場所のない子ども

【地域】
・孤立している人々が多い地域
・つながりを喪失している地域

若者同士の交流の場
子ども食堂

【若者】
・たくさんの自信をつけていく
・失敗や様々な経験を通して、彼らなりの一歩を踏み出していく

【子ども】
・学校、家庭以外の居場所ができる
・つながりの中で子どもたちに価値観がとれる前に様々な支援を受けることができる
・新たな大人・子ども・地域との関わりができ、ロールモデルができる

【地域】
・地域の人々の関わる場・活躍の場が増える
・地域が元気になっていく

協働に向けて

企業と協働したいことサポートしてほしいこと

【若者】

・職場体験先の確保
・ボランティア先の確保

これまでの実績：NPOネットワークセンター様(5日間程度の職場体験)、こじか支援センター様(お祭り運営ボランティア)、福島市社会協議会様(古切手整理ボランティア)など

【子ども】

・子ども食堂運営継続(月1回開催 1回50名前後の子どもたちの参加)
・食材提供・ボランティア協力・資金提供・広報協力・協賛

これまでの実績：FMポコ様(広報)、アサヒ飲料様(運営資金)、旬彩畑様(食材提供)など

企業に向けてメッセージ

ビーンズふくしまはこれまで一貫して子ども・若者のために19年間活動してきました。企業の皆様と連携を深め子ども・若者の一歩を支えることのできる地域、たくさんの笑顔を生み出すことのできる地域を共に創っていきたくと考えています。

また今回の協働がぜひ企業様にとっても価値あるものになんことを考えています。子ども、若者、地域のためにぜひとも企業の皆様にはご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

このプレゼン資料は

http://bit.ly/h30mch_07beans

からもダウンロードできます。

08■ NPO 法人 サポートクラブキャロット

NPO法人サポートクラブキャロット キャロット八山田

職業指導員（兼）事務員
保科守男




●設立のきっかけ

■長い間、高齢者として保健所等施設に生活してまいりました。ある時、施設訪問をした際、施設利用者がそっと静かにバナナを差し出しました。その時の笑顔が胸にも響きました。

心で思っても言葉に出して言えない、
なりたくなかったが、
社会の無理解があるのでは？
と感じたのがきっかけでした。（理事長 戸田重美子氏）

■障がい者も健康者も分け隔てなく当たり前の生活が出来るよう、併せて就労意欲のある障がい者の働く場所として平成23年4月に「就労継続支援B型事業所」を設立しました。

※就労継続支援B型事業所とは
一般企業への就労が困難な障がい者と持ちの者に様々な支援を提供するとともに、生活環境を通じて、その経験と能力の向上に必要な訓練などの障がい福祉サービスを提供することを目指すとしています。
B型事業所は、就労意欲を高める、就労者が社会生活の自立と就業として、社会的自立に資する「活動型」です。

●団体の目的

○障がいのある人が
充実した毎日を送られる

○障がいのある人の
社会復帰に向けた
活動・生活に対する
援助・支援を行う



○さっさと働くバナナ

私たちの思い、考え

■地域の課題

（障がい者に対する課題）

- ①地域の中で当たり前のように生活し、当たり前活動したい
- ②資金の確保と生活への支援
- ③自分の能力に合った社会貢献をしたい

●目指す地域の姿

（団体の目的）

障がい者も健康者も共に手を取り合って、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する地域社会の実現を目指します。



不十分

活動紹介

■事業所名：キャロット八山田 定員20名 職員5名
■平均工賃：平成29年度実績 14,278円/月（時給155円）
＜参考＞福島県最低賃金（平成29年度概算）748円/月（時給848円）

現在請け負っている主な仕事・・・

- ① レモンの袋詰め（※） 約10名
- ② 箸の袋入れ（※） 消費員 20名
- ③ ポスティング（※） リビングプロセード 約10名
- ④ メール便 1名
- ⑤ 箱折（※） 大卒社員 約3名
- ⑥ 郵便パック詰め 非常勤職員 1名
- ⑦ アパート清掃（※） リビングプロセードシステム 3名

※ D.M.、チラシ封緘、清掃業務等受け入れます。
※ 過去にボールペン補正、パチンコ台解体業務あり。




地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

利用者の変化の一例

私がキャロットで働き始めた頃は、毎日居眠りばかりしていた利用者が、最近では少しずつですが自分から声をかけてくれるようになり、笑顔も見られるようになり、自分もうれしくなりました。これも地道に毎日声掛けをした結果？と自問自答しています。これからも毎日、利用者に寄り添っていきたく思います。



協働に向けて

活動・組織での悩んでいること

工賃向上に向けて、安定した仕事の確保が難しい

企業と協働したいこと
サポートしてほしいこと

仕事の供給又は紹介の継続

※利用者が出来る仕事は、主として座ってやる軽微な作業が中心

企業様に対してのメリットは、安い手間で労働力を得ることができる！

将来は、福祉施設から一般企業へ1人でも多くの障がい者を送り出したい。



企業に向けてのメッセージ



私たちは、障がい者も健康者も共に手を取り合い、寄り添い、明るく楽しい生活が出来るよう地域、社会づくりを目指します。企業の皆様にも是非このような地域、社会づくりに参加して頂き、皆様の知識等をお借りし、その実現のためにご協力お願い致します。

このプレゼン資料は
http://bit.ly/h30mch_08carrot
 からダウンロードできます。

10 ■ 特定非営利活動法人 真善美



● 設立のきっかけ

- NPO法人
理事長の子供がダウン症児
- カレッジ郡山
高等部卒業後の学びの場
専攻科を作る会
- カフェ

● 団体の目的

- 世のため、人のために尽くす
- 障害者が安穩に暮らせる社会の実現
- 障害者と健常者の「共生社会の実現」

2

具体的目標

- 学びの場 (カレッジ郡山)
- 実践の場 (ウエルフェアCafé)
- 終の棲家 (グループホーム)
- 働く場 (特例子会社・作業所)
- 重症心身障害者の施設を創る

3

活動紹介

カレッジ・カフェ・ちいき食堂

4

協働に向けて ①

- 障害者の働く場
【特例子会社を共に創る】
特例子会社とは
障害者の雇用状況

5

協働に向けて ②

重症心身障害者施設への協力
プロジェクトチームに参加

6

豊かな社会を共に創る

障がい者に やさしい社会

全ての人に やさしい社会

7

このプレゼン資料は
http://bit.ly/h30mch_10shinzenbi
 からダウンロードできます。

12 ■ 特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ

NPO法人 いいざかサポーターズクラブ
Iizaka Supporters Club

発表者：理事 金沢 次郎



～～～設立のきっかけ～～～

- 飯坂町は、高度成長期をピークに観光客が半減、町内には経営不振や後継者不足などの要因で廃業した旅館、商店が点在。
- 設立当初、住民と行政が協働で、和風を基調とした美しい街並み整備や、住民主体によるイベント開催など、街づくりの機運が高まる。
- 飯坂町には、新たな観光産業を生み出す企業や団体が、無かった。

～～～団体の目的～～～

- 地域資源（温泉や自然など）を後世に、守り伝えると共に、新たな地域の特性を生かした観光産業の調査、研究、企画、普及、啓発。
- 観光客や地元住民によるコミュニティ空間の形成。
- 飯坂町の持続的な発展に尽力する人材の育成。



私たちの思い、考え

●**地域の課題**

- ◆飯坂温泉へ集客。
- ◆観光客の市民のニーズに合わせた、アクティビティなど楽しめる空間の開発及び提供。
- ◆東京オリンピック、パラリンピックも踏まえて、インバウンド対策。
- ◆駐車場及び空き家対策。

➡

●**目指す地域の姿**

- 観光客も市民も誰もが、住んで歩いて楽しい街

★ 飯坂温泉街に人波が、絶えない街並みにする。



活動紹介

- まちづくりの推進を図る活動**
 - 白旗あそび推進事業
 - 心も体も元気で過ごすための支援事業
- 観光の振興を図る事業**
 - 堤上川ダム湖でのカヤックツアー
 - 茂原広瀬公園でのバーベキュー
- まちづくりに関する連携事業**
 - ★飯坂地域まちづくり計画推進懇談会参画
 - ★福島市市民活動サポートセンター運営協議会加盟
 - ★福島県レクリエーション協会加盟
 - ★子どもが自然で遊び樂校ネット加盟
- 学術、文化、芸術、スポーツにて振興を図る活動**
 - 茂原湖TTレース
 - スラックライン体験会in 飯坂温泉
 - 夏モニカツ（事務局）
 - 海のまち飯坂・茂原湖マラソン（事務局）
- 地域の魅力を普及拡大する為の宣伝事業**
 - 新聞やテレビ、インターネット
 - モンベルフェア
 - 東北ビジネスマッチ
- 目的を満たすためのその他の事業**
 - ★福島県 チャレンジインターンシップ受入
 - ★復興庁 復興・創生インターン受入



地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

●**カヤックツアー**

- ・福島市内で手軽に体験できる。新たなアウトドアレクリエーションとして観光客や市民の関心、自然を満喫しながら楽しんでいたため。

●**冒険ひろば**

- ・手塚クラブ指導員より、日頃の子ども達との接し方が変わった。子ども達自身の自発性が出てきたと言った。ご意見を頂いております。

●**夏モニカツ**

- ・開催を重ねるごとに、次年度の、予定も埋れて行くが、開催を望まれている。また開催するきっかけになっている。

●**心も体も元気で過ごすための支援**

- ・福島市での生活が充実している。
- ・自分たちで開催する事が、嬉しいので助かる。
- ・引きこもり防止に繋がる。
- ・と言った。ご意見をいただいております。



協働に向けて

活動・組織での悩み 困っていること

- ①活動情報の発信力不足
 - ・法人活動の情報の発信力が弱い。
- ②人材不足
 - ・常勤スタッフの不足。
- ③新たな事業の取り組み
 - ・空き家対策の調査、企画、立案、運用について
- ④資金不足
 - ・自主財源に繋がる事業展開ができていない。



企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

- ①企業と協働
 - ★地域課題
 - ・飯坂温泉の空き家対策にともなう調査、企画、立案、運用を行う。
 - ★人材育成（協働再開するなかで人材育成）
 - ・飯坂温泉にて、観光客や市民が楽しめる空間を、協働で調査、企画、立案、運営を行う。
- ②サポートしてほしいこと
 - ★活動情報の発信
 - ・インターネットやSNS活用の指導や人材派遣。
 - ・企業と共同で、イベントやアクティビティ企画をメディア情報として、取り上げていただく。
 - ★資金不足
 - ・自然体験を活用したチームビルディングを、企業の研修に活用していただく。
 - ・社員旅行等に当法人を利用していただく。

企業に向けてメッセージ

10年目となる当法人では、飯坂町で歩いて住んで楽しい街にすることを目標として進んでおり、さらなる飛躍を求めて企業との協働を求めて今回、飯坂町を出入る企業との新たな出会いを求めています。それは、地域の中だけでは、考えが狭まってしまうため、外からの新しい風を感じたく参加しました。

地域で活動しているNPOと協働することにより、企業の皆様にとっても地域貢献や人材育成、商品開発など、色々なメリットに繋がりますので、ぜひ私達NPO団体と協働していただけたらと思います。



このプレゼン資料は
http://bit.ly/h30mch_12iizaka
 からダウンロードできます。

13 ■ 特定非営利活動法人 ほっとハウスやすらぎ

特定非営利活動法人
ほっとハウスやすらぎ

所長: 西川 しのぶ

放課後等デイサービス
ほっとハウスばうむ

就労継続支援B型事業所
ほっとハウスやすらぎ

就労継続支援B型事業所
ほっとハウスれーべん



—1—

●設立のきっかけ

・平成9年1月、当時精神障がい者の中活動の居場所がなく、「ほっとハウスやすらぎ」が家族や当事者の希望の場所として、また会津地域精神保健福祉の担い手として開所した。
・平成29年に開所から20周年を迎えた。

●団体の目的

・～創る～
障がいのある方も、職員も、家族も、それぞれが新しい自分を創ることを目指す。
・～繋ぐ～
これまでと今、これからを繋ぐことを目指す。
・～訪ぐ～
心と心を紡ぐことを目指す。



—2—

私たちの思い、考え

▶地域の課題

- 障がい者も健常者も、大人も子どもも、心に抱えている悩みや不安を、安心して相談できる場所が不足している。
- 一人暮らしの方や、一人親家庭の子どもが増えている。
- 市町村の垣根を越えて、様々な人が集まれるカフェが必要とされている。
- カフェで食事作りや話し相手になってくれる等、カフェの手伝いをしてくれるボランティアの確保が難しい。

●目指す地域の姿

・障がい者、健常者、子どもからお年寄りまで、お互いを必要として集まれる場所「ごちゃまぜカフェ」があり、安心してなんでも相談できる居場所になること。

・障がい者も高齢者も、地域の力になって、活力を作り出すことができる場所となり、地域の方々と繋がっていくこと。

・一人ひとりが、お互いの気持ちの優しさをくみ取り、太い絆に変えていくことができる地域を目指す。



—3—

活動紹介

就労継続支援B型事業所「ほっとハウスやすらぎ」

- ・平成9年 小規模作業所として開所
- ・平成20年 障がい者自立支援法施行により、就労継続支援B型事業所へ移行
- ・職員数 10名 ・定員40名
- ・地域の小学校との交流事業を、20年間に亘り行っております。
- ・作業種目
売店運営、カフェ運営、仕出し弁当作り、施設外就労

放課後等デイサービス「ほっとハウスばうむ」

- ・平成25年開所
- ・職員数 5名 ・定員10名
- ・開所時間: 月～金 13:00～19:00
学校休業日 9:30～18:30

就労継続支援B型事業所「ほっとハウスれーべん」

- ・平成25年開所
- ・職員数 4名 ・定員26名
- ・作業種目: 企業からの下請け作業、農業、オリジナル製品の製作



—4—

地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化
「地域の方の声にも成果が現れる」

・障がい者との交流を通して、「会津若松市立川南小学校」が障がい者の自立と回復に寄与している事を評価され、全国の教育機関で初めて、「精神障がい者自立支援活動賞」を受賞した。

・実際に障がい者と接してみて、自分と変わらない事に気付いた。

・見た目にはわからないが、心の葛藤を抱えていることが分かった。

・障がい者への偏見をなくしていく事が大切だと気付いた。

・心の健康には、笑顔が一番大切である。



—5—

協働に向けて

活動・組織での悩み
困っていること

- 「ごちゃまぜカフェ」をやるにあたり、子どもから大人まで、障がいがあっても無くても、楽しめるような居場所づくりのアイデア、周知を図っていくのが困難。
- 一緒に「ごちゃまぜカフェ」を手伝ってくれる人材が不足している。

企業と協働したいこと
サポートしてほしいこと

- 私達は、31年度に「ごちゃまぜカフェ」を蔵造りの建物でオープンしたいと考えております。建物の片づけやアイデアのご提供、チラシや告知の協力。又、ボランティアで話し相手や一緒に食事を作ってくれる方を必要としております。
- 家庭の事情で、一人で夕食を食べなければならない子どものために、夕食を提供できる場にもしたいと考えております。そのため、使用していない食器や食材等をご提供いただけたら幸いです。



—6—

企業に向けてのメッセージ

- 「ごちゃまぜカフェ」を通して、子ども達とお年寄りが触れ合うことで、日本文化や、更には家族の温かさ、心の寂しさを埋めるための原動力になると考えています。
- 地域の方がカフェに通ってもらうことで、障がい者の理解と、高齢者、子ども、健常者等、全ての方の心が豊かになると考えます。
- 家庭の事情で、一人で夕食を食べなければならない子どものために、地域の課題でもある、孤立や個食を少なくしていくことを、このカフェを通して実現していきたいと思ひます。

手を携えて一緒に活動ができますよう、ご支援とご協力をお願い申し上げます。



—7—

このプレゼン資料は

http://bit.ly/h30mch_13hothouse

からもダウンロードできます。

14 ■ 特定非営利活動法人 ピーターパンネットワーク



●設立のきっかけ

「会津に障がい者と健常者が共に働く場所を作りたい」とそんな思いが前共同作業所ピーターパン所長穴沢信弥の願いでした。その願いは1993年に3人の若者が青春と情熱をかけ多くの支援者の手で現実のものとなりました。共同作業所ピーターパンが生まれたのは1993年4月1日。会津若松市住吉町で産声をあげました。当初の利用者さんは2名で農家さんから畑を借りトマトを育てて売っていました。同年10月には念願のパン屋さんがオープンし利用者さんの数も6名に増え、いろいろな方のいろいろな思いが詰まった作業所がスタートしました。

●団体の目的

法人理念
私たちは、障がい（児）者の『わが国、『声なき声』に真摯に向かい合い、あらゆる機会・手段をもって、その実現に全力で取り組みます

法人方針
Ⅰ 「わが国」を支える社会づくりをします。
Ⅱ 「わが国」の実現を支える人材を育成します。
Ⅲ 「わが国」を実現する場をつくります。
Ⅳ 「わが国」実現の基盤である所得保障をめざします。
Ⅴ 「わが国」に応えるためあらゆる人・機関と連携します。

私たちの思い、考え

▶地域の課題

障がいや、当事者を理解してもらえない活動が足りない。
→偏見や誤解。理解してもらえない。

目指す地域の姿

障がいがあっても、なくても安心して暮らせる地域の基盤づくり。
金銭面の自立

ピーターパンの思い

利用者の皆さんにたくさんのお給料を渡してあげたい

作業ではなく仕事

活動紹介

くつろぎ宿舎業務

会津若松市宿舎の清掃「くつろぎ宿舎」からお仕事をいただきます。清掃員として活躍していただくことで、生活の自立を促すとともに、地域社会への貢献も目指しています。

発泡リサイクル

福島県内のリサイクルショップから集められた発泡スチロールのリサイクル事業を行っています。作業員は利用者を1名、職員1名の計2名で作業し、一日に約500個の発泡スチロールを処理しています。

バイオディーゼル燃料製造

福島県内の農産物、畜産物、食品の廃棄物を回収し、それをバイオディーゼル燃料の原料として利用しています。バイオディーゼル燃料は、環境にやさしい燃料として、多くの企業から需要が伸びています。

ウェンディのお弁当屋さん

会津若松市のお弁当屋さん「ウェンディ」で、お弁当の調理・包装・配達を行います。お弁当の調理・包装・配達には、多くの利用者さんが活躍しています。

パン工房 ウェンディ

会津若松市のパン工房「ウェンディ」で、パンの製造・販売を行います。パンの製造・販売には、多くの利用者さんが活躍しています。

活動の成果

BDF班
厨房で使用した廃油の回収

お弁当班
社員の方からや会議用のお弁当の注文

くつろぎ宿舎
利用者の「働く環境」の提供

パン班
週1回のパンの移動販売

ピーターパン 平均工賃の推移

平成22年度	10,290円
平成23年度	19,680円
平成24年度	23,840円
平成25年度	26,644円
平成26年度	30,204円
平成27年度	35,034円
平成28年度	36,067円
平成29年度	36,257円

福島県 平均工賃 14,425円

★荒川産業様と協働
リサイクルショップから回収した発泡スチロールのリサイクル事業

★大沼高校と協働
購買部でのお弁当とパンの販売

★会津若松市エコツアー開催
各団体の施設見学

工賃が上がると利用者さんの働きぶりが変わります

協働に向けて

今後、さらなる利用者工賃向上を目指すために、各班の売上を伸ばしたい。

目標工賃5万円/月額

企業と協働したいこと
・サポートしてほしいこと

- ★軽油を使用している車に、バイオディーゼル燃料を使ってください。
- ★使用済みの植物油の回収にご協力ください。
- ★会議用、社員さんの昼食にウェンディのお弁当屋さんを利用してください。
- ★パンの移動販売にお邪魔させてください。
- ★利用者さんの働く環境をご提供ください。

→ 平成31年度 就労移行サービス事業開始
職場体験をさせていただきます。

企業に向けてメッセージ

障がいを認めてください

障がいがあっても出来ることたくさんあります

今日の出金いが、利用者さんの笑顔に繋がりますように

このプレゼン資料は
http://bit.ly/h30mch_14ptpan
 からダウンロードできます。

15 ■ 特定非営利活動法人 会津コンピューターム

特定非営利活動法人
AIZU-computfarm
会津コンピューターム



旧赤沢小学校

- 団体名 特定非営利活動法人 AIZU-computfarm 会津コンピューターム
- 所在地 大田郡会津美里町八木沢字門前303 旧赤沢小学校内 〒969-6373
- TEL 0242-23-7226
- Eメール computfarm@aizui.com
- ホームページ <http://www.aizui.com/aizui3521/AIZU-computfarm>

発行者：佐藤孝夫／芳賀 洋
スタッフ 理事長

● 設立のきっかけ

NPO法人申請設立までの経過
設立者である、サンドバーグ氏はアメリカからの派遣英語教師を終了後、金融関係企業などから中古パソコンの寄贈を受けました。
その後、これらの機材をもってパソコンの教育を目的としてそれらの整備活動を行う。
また平成14年11月頃からは、会津美里町の要請によりパソコン等の寄贈を開始した。
これら中古パソコンを仕入れた、1山のIT教室を平成15年4月より旧町立東尾崎小学校にて授業を始める。(現在は旧赤沢小学校)
平成16年4月には公益信託うつしま基金を受け活動拠点を広げた事によって、これら活動を円滑に進めていくためにNPO法人申請に至った。
今年も結成に就いてくれた、旧赤沢小学校

● 団体の目的

- ◆ 都市部と、過疎化した地方では、コンピュータの利用の可否によって、情報格差(デジタル・デバイド)が大きく開いてきています。
- ◆ コンピュータを道具として上手く使えるようになれば、情報格差を埋めることができ、雇用の機会を増大させることができます。
- ◆ 「コンピュータで人を育てる」ことを目的として、コンピュータームというネーミングにこめられています。

私たちの思い、考え方

最も大きなものは、私たちスタッフが、15年以上に亘り日々の診療を通じてNPOとしての会津コンピュータームを運営し続けたことです。3000人以上を超える教室の卒業生がパソコンの技術を身につけたこと、これら全ては地域のボランティアスタッフの力に他なりません。
このようなボランティアの活動は私たちにとってまだまだ未熟です。私たちは受講生のみなさんが技術的スキルを身につける喜びを願い、そしてこの活動が注目されることを願っています。そのために下記の思いを持っています。

若者が地元で留まるための教育活動、高齢者がコミュニケーションをもち楽しめる場所

としています。パソコンに興味を持っていただくための、きっかけ作りの活動であって、一般的なパソコン教室のような利益を目的とした団体ではありません。私たちの教室の終了後には、さらなるスキルアップを目指して、パソコン専門教育機関等での資格取得にトライしていただくことを願っています。
またこの先ずっとコンピュータームを育てる土壌が続き、皆さんとその成果を分かちあえることを期待しています。

活動内容の紹介

小人数での分かりやすさを第一に指導します
分からないときは何度でも質問します。



女性、男性はほぼ半数でした。年齢は高齢の方で80歳(生き甲斐を持つために)、から若い方では18歳(スキルアップのために)。



地域との繋がりを大事しております
行事ボランティア参加したり、赤沢地区で毎年行われている、菓の花祭りに出店参加しております。
その他に料理教室なども開催して好評を得ました。

地域、住民、ボランティア、受講生
などの方々からの反応

地域の方々とのつながり方

私たちのこの活動は、連日町長や会津美里町に大変喜んで頂戴をいただいております。私たちのボランティア活動を支えています。
又、町には廃校がいくつかあります。その様な地域には、「人が居なくなった」といふ寂しさがあり残っていますが、それは住民の方々にとって不安がつのるものです。
そうした廃校を私たちが積極的に活用して、人がまた集まる仕組みを作りました。
その事が地域につながり根をのこしました。ICT情報活動がこれにより根付いたのは、住民とボランティア活動が一体となったことが一番大きなことです。



自分にかかったカリキュラム満足度 38%
料金がかかった 33%
教える方が分かりやすかった 24%
スタッフのアドバイスが良かった 22%
その他 5%

受講者の声(アンケートより)

協働に向けて

この様なホスターを毎回作成します

情報の発信と、情報の不足を解決したい
私たちの活動を広く知ってもらい、理解してもらえればと思います。



① 情報の発信としては、町の広報紙、ポスター、新聞のチラシ掲載などで、地域範囲が広がります。
② これまでの活動内容では、これ以上の発展が見込めないため、新しいコースを開発したい。
③ 会津地域に広く情報を発信するための能力、方法や手段、ノウハウがない。

企業とのマッチングで互いのスキルアップ
様々な企業に私たちの持っているスキルがマッチングするかどうか、お互いの情報を交換し合うことが出来るかを、その中から見つけ出したい。

- ① 私たちの広報紙、案内誌等の配布先を広めることが出来ないか。
- ② 各企業団体の社員教育、新入社員のパソコン研修としてお役立ちしたい。
- ③ 企業団体と地域を結ぶための手段として私たちのノウハウが活用できないか

企業に向けてのアピール

1) 様々な希望に柔軟にこたえられます。
各コースと、講座は日程計画で決まっておりますが、実際は受講者の方は時間と日程とコースが希望に合わない事が有ります。
そこで、なるべく各個人に合わせるべく、教室と講師を増やし週3回にしました。一人の受講者と一対一でさらに教室もそれに合わせて4室にしました。又、当日欠席の場合は都合に合わせて補講を無償で行います。

2) 教室以外の出張講座もあります。
今までの実績として、昭和村、金山町、横田地区、若松市など各市町村の要請を受けて随時計画いたします。各団体に向けての個別出張講座にもこたえられます。

3) 受講者の要望に合う講座を行います。
パソコンの定番講座、ワード、エクセル、だけでなく、図面作成のCAD講座やポスター、チラシの作成、インターネットSNS講座、デジタル講座、パソコン基礎講座、年賀状作成講座、などなるべく幅広く対応できます。

4) 受講にかかる費用負担を少なく工夫します。
パソコンは自分の持ち込みを原則としております。アプリケーションは特別に購入することは在りません。教科書も必要ありません。受講用の資料はスタッフ全員で作成します。お金を掛けない方針としております。

このプレゼン資料は
http://bit.ly/h30mch_15compufarm
からもダウンロードできます。

16 ■ 特定非営利活動法人 小野自然倶楽部

特定非営利活動法人
小野自然倶楽部

代表理事
大方 俊浩



1

●設立のきっかけ

小野町内において2年続けて不審火による火災で5人の子どもの尊い命が奪われました。他の地域でも自然のなかでの事故などで多くの子ども犠牲者が出ているため、自然体験、アウトドアスポーツを推進するため2005年に設立しました。

●団体の目的

小野町を中心とした田村郡地域とその周辺の子どもたちに対し、地元での環境学習、自然体験活動、食育体験を通して、**地域の自然環境保全、自己の危機意識の確立**などを目標として、その意識を次世代まで引き継いでいけるように手助けすることを設立の目的としております。



屋とのふれあいの森公園・外観



VTBでの公園内見学

2

私たちの思い、考え

▶地域の課題

今、日本中で抱えている問題でもありますが、この地域でも少子化が年々進んでおります。

団体競技⇨個人競技へ移行推進

原発事故のための
森林体験の減少

屋外での遊びや体験の減少

↓

小学生の配属が進んでいるためその対策が急務

●目指す地域の姿

今後、**若者の人口比率が増えない**と考えれば、今の子どもたちをいかに成長させるか、そして将来地域の担い手として活躍してもらうにはどうしたらよいのか、まだ結論は出ておりませんが、子どものうちから地域の自然の豊かさや厳しさに触れさせ、マウンテンバイクコース設置として**国有林無料借上げ制度(遊々の森)**を長年申請し、今年度受理されました。そこでこのスポーツや体験を通して将来北海道常呂町のカーリング娘たちのように地域全体で応援できる子どもの育成に関わっていきことができれば最高だと考えます。

3

活動紹介

1. みどりとのふれあい活動



森林アムレツツリ



MTB(マウンテンバイク)体験

2. 食育活動



読書はこれ

3. 自然の大切さの育成活動



水牛の餌・水牛の餌



森林活動

4. 地域交流活動



和民路養育によるフーズショップ

4

地域、住民、ボランティア、参加者の反応や変化

今、小野町の**緑とのふれあいの森公園**というキャンプ場が併設された森林公園を委託管理しております。そこでキャンプに来た親子を観察させていただいていますが、自然体験が、好きな親に初めは無理やり連れてこられ戸惑い、面白くもない顔をしていた子供が、二度目、三度目と回数を重ねるうちに自分で遊びを考え、森林の中で自由に遊びまわる姿を目の当たりにして、子どもってすごいなと改めて思いました。一番感じることは、同年代の子どもたちと比べてはるかに子供らしく、そして自分のことは自分でやれる、と感じております。

地域の大人たちも**子ども会行事**と称し、公園にバーベキューや芋煮会などに来ておりますが、子どもよりはいやっております。日頃野外で食事をすると言った経験が少ないため親子で楽しそうに話しているのを見て、やはり親が本心から楽しんでいないと子供も楽しめないんだと改めて思っております。



千鶴コンテスト



三代交流イベント・竹筒パン作り

5

協働に向けて

活動・組織での悩み
困っていること

マウンテンバイクコース設置と実用に向け、なんといっても、人材の確保と専門知識が必要ですが、競技活動をサポートできるスキルがないので、これからもっと学びたい、競技に出てみたいというような子供が出てきた場合が難しいのと、子どもたちにはそこを目指してほしいと考えておりますのでこれからの課題でもあります。

企業と協働したいこと
サポートしてほしいこと

1. マウンテンバイクコースと遊歩道の整備

2. 米、桜の苗木100本の植林するためのボランティア

3. 競技活動サポートの経験者のボランティア派遣

↓

マウンテンバイクコースのネーミングライツ

桜の木に協力企業や団体・個人の名札の取り付け

6

企業に向けてメッセージ

私たちの団体は、とにかく子供の将来を見据えて地域での自然体験などを通して地域の良さを感じてもらい、将来この地域において各分野のリーダーとなり活躍し、次世代につないでいくことが大切だと考えます。

このような中山間地域は全国に山ほどありますが、そのモデルケースに成る様な活動を展開するため、勉強をして行きたいと考えておりますのでご指導ご鞭撻も合わせてお願いしたいと考えます。





遊々の森

7

このプレゼン資料は

http://bit.ly/h30mch_16onoshizen

からもダウンロードできます。

7

マッチング事業 参加 NPO

平成 30 年度 本事業に参加した福島県内の NPO（15 団体）を以下に示す。

■ NPO 法人 裏磐梯エコツーリズム協会

T E L / 0241-23-7860

住 所 / 耶麻郡北塩原村大字桧原字小野川原 1092 番地 65 裏磐梯サイトステーション内

U R L / <http://eco-urabandai.com>

■ 特定非営利活動法人 いわきイルミネーションプロジェクトチーム

T E L / 0246-88-1703

住 所 / いわき市泉ヶ丘 2 丁目 12 番 7

U R L / <http://iippt.biz>

■ 特定非営利活動法人 ザ・ピープル

T E L / 0246-52-2511

住 所 / いわき市小名浜君ヶ塚町 13-6

U R L / <https://npo-thepeople.com>

■ NPO 法人 ツークunftロカル

T E L / （携帯電話番号のため記載せず）

住 所 / いわき市常磐白鳥町北蟹打 33

U R L / <http://zukunft-lokal.org/>

■ 特定非営利活動法人 いわき鳴き砂を守る会

T E L / （携帯電話番号のため記載せず）

住 所 / いわき市内郷高坂町八反田 16 番地の 7

U R L / <http://nakisuna.com>

■ 特定非営利活動法人 青陽

T E L / 0246-34-4555

住 所 / いわき市平下神谷字立田帯 5

U R L / <https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/007001063>

■ 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま

T E L / 024-563-6255

住 所 / 福島市矢剣町 22-5

U R L / <http://beans-fukushima.or.jp/>

■ NPO 法人 サポートクラブキャロット

T E L / 024-983-6125

住 所 / 郡山市郡山市八山田 6 丁目 73

U R L / <https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/007000506>

■ 特定非営利活動法人 ココネット・مام

T E L / 024-931-6100

住 所 / 郡山市桑野 4 丁目 8 番 1 号エレガンス桑野 203 号

U R L / <http://coconetmamu.net/>

■ 特定非営利活動法人 真善美

T E L / 024-983-3977

住 所 / 郡山市緑町 7-9

U R L / <http://sin-zen-bi.or.jp/>

■ 特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ

T E L / 024-529-6125

住 所 / 福島市飯坂町字湯沢 26 番地

U R L / <http://iizakasupporters.com/>

■ 特定非営利活動法人 ほっとハウスやすらぎ

T E L / 0242-29-0593

住 所 / 会津若松市新横町 1-17

U R L / <https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/007000418>

■ 特定非営利活動法人 ピーターパンネットワーク

T E L / 0242-93-9357

住 所 / 会津美里町字外川原甲 4260 - 7

U R L / <http://aizu-pipanet.or.jp/>

■ 特定非営利活動法人 会津コンピューファーム

T E L / 0242-23-7226

住 所 / 会津美里町八木沢字伴右エ門前 3503 旧赤沢小学校

U R L / <https://facebook.com/compufarm>

■ 特定非営利活動法人 小野自然倶楽部

T E L / 0247-72-4678

住 所 / 田村郡小野町大字小戸神字宮ノ前 397-2

U R L / <https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/007000879>

以上 15 団体

8

マッチング事業 参加企業

平成 30 年度 本事業に参加した福島県内の企業（20 社）を以下に示す。

■ 株式会社エヌ・エス・シー

T E L / 0242-22-6663

住 所 / 会津若松市神指町黒川字湯川東 218

U R L / <https://www.facebook.com/nsc.aizu/>

■ 株式会社オグラ

T E L / 0241-78-2066

住 所 / 南会津町熨斗戸 544-1

U R L / <https://www.lc-ogura.co.jp/>

■ 株式会社シネマとうほく

T E L / 022-225-0986

住 所 / 仙台市青葉区本町 2-17-2 ラ・セーヌビル 3 F

U R L / <http://cinema-tohoku.co.jp/>

■ 伊達貨物運送株式会社

T E L / 024-583-4151

住 所 / 伊達市箱崎字沖前 73 番地 3

U R L / <http://datekamotsu.co.jp/>

■ 株式会社共和建商

T E L / 0248-29-2231

住 所 / 白河市田島館ヶ崎 4 番地 1

U R L / <http://kygp.com/>

■ 株式会社アーバン設計

T E L / 024-961-7500

住 所 / 郡山市大槻町字御前東 46 番地 26

U R L / <http://urban-dc.com/>

■ 有限会社折笠工務店

T E L / 024-955-4055

住 所 / 郡山市田村町下道渡字中ノ内 14 番地

U R L / <https://e-orikasa.com/>

■ 学校法人郡山開成学園 郡山女子大学

T E L / 024-933-1955

住 所 / 郡山市開成三丁目 25 番 2 号

U R L / <http://www.koriyama-kgc.ac.jp/>

■ 株式会社日進堂印刷所

T E L / 024-594-2212

住 所 / 福島市庄野字柿場 1-1

U R L / <https://nisshindo.co.jp/>

■ 有限会社郡山島田海苔店

T E L / 024-952-1250

住 所 / 郡山市鳴神 3-227

U R L / <https://facebook.com/shimada999nori/>

■ ふじ印刷株式会社

T E L / 0248-25-0455

住 所 / 西郷村大字米字西原 42-4

U R L / <http://fujipri.com/main/>

■ 有限会社クローバーコンサルティング

T E L / 024-927-5220

住 所 / 郡山市並木 2 丁目 13-2

U R L / (確認中)

■ エヌケー・テック株式会社

T E L / 024-926-1229

住 所 / 郡山市鶴見坦 1-14-5

U R L / <http://www.multi.ne.jp/>

■ 有限会社ありがとう保険サービス

T E L / 0247-61-2835

住 所 / 田村市船引町笹山字大畑 288

U R L / <https://arigatouhoken.co.jp/>

■ 株式会社かるみあ

T E L / 024-983-6127

住 所 / 郡山市昭和二丁目 19-11

U R L / <http://karumia.jp/>

■ 日本政策金融公庫いわき支店

T E L / 0246-25-7251

住 所 / いわき市平字菱川町 1-5

U R L / <https://www.jfc.go.jp/>

■ いわき信用組合

T E L／0246-92-4111

住 所／いわき市小名浜花畑町 2-5

U R L／<http://iwaki-shinkumi.com/>

■ 株式会社ソーシャルスピーカー

T E L／0246-84-8298

住 所／いわき市四倉町名木字荒神下 11

U R L／<https://social-speaker.co.jp/>

■ 東京建設有限会社

T E L／0246-35-1135

住 所／いわき市平 6 丁目 1-8

U R L／<https://www.zennichi.net/m/iwaki/>

■ 合同会社いわきコミュニティ振興グループ

T E L／0246-92-2543

住 所／いわき市小名浜定西 69

U R L／<http://iwacommune.net/>

以上 20 社

9

成果報告

「NPO と企業との協働マッチング会」の後、ふくしま地域活動団体サポートセンターのアフターフォローのもとでの参加 NPO と参加企業との協働に関する成果または 3 月末現在の進行状況を以下に報告する。

報告（１）職業訓練の一環での NPO イベント広報物の制作

■NPO／特定非営利活動法人 裏磐梯エコツーリズム協会（北塩原村）

■企 業／エヌケー・テック株式会社（郡山市）

①協働事業の内容

エヌケー・テック株式会社が実施している公的職業訓練（ハロートレーニング）の DTP-WEB デザインコースの訓練生の教材として、特定非営利活動法人裏磐梯エコツーリズム協会が開催するイベントの広報物（ポスター・チラシ等）を企画制作する。

②双方のメリット

■NPO／職業訓練生といえどデザイン知識のある人たちに広報物制作という形で自団体事業の広報の一部をお手伝いいただける。また制作企画から関わっていただくことで企業及び訓練生に自団体事業や活動を PR することができる。

■企 業／職業訓練の教材として地元の実際のイベントを取り上げることで、実践的な訓練をすることができる。またこの取組みをメディア報道することで企業の社会貢献を PR できる。

③成果または進行状況

現在、NPO と企業との初回打合せにむけて双方資料を準備中。第 1 回の打合せを 2019 年 4 月 2 日（火）13:30 よりエヌケー・テック（株）にて実施予定。

報告（２）こども食堂への協力

■N P O／特定非営利活動法人 ビーンズふくしま（福島市）

■企 業／有限会社 郡山島田海苔店（郡山市）

①協働事業の内容

特定非営利活動法人ビーンズふくしまの実施するこども食堂「よしいだキッチン」にて、有限会社郡山島田海苔店が自社の海苔の提供およびこどものための海苔の上手な焼き方などのワークショップの実施。

②双方のメリット

■N P O／こども食堂への食材の協力が得られるだけでなく、こどもたちへの地域社会での教育が実施できる。また事業実施する上でのサポートスタッフ不足の解消につながる。さらにこの協働を他の企業へのPRとすることができる。

■企 業／社会貢献ができる。また自社PRおよび自社製品のPRもできる。

③成果または進行状況

（１）2019年2月18日実施のこども食堂「よしいだキッチン」（於：吉井田学習センター）にて、海苔製品の提供と焼き海苔ワークショップを実施した。

（開催チラシ Fig001、実施の写真 Fig002 を参照のこと）

（２）2019年3月11日実施のこども食堂「よしいだキッチン」（於：吉井田学習センター）にて、焼き海苔を使ったおにぎりの提供とワークショップを実施した。

（開催チラシ Fig003 を参照のこと）

※4月以降も継続して協力予定

Fig001 2019年2月18日 こども食堂の実施チラシ

地域の子どもの居場所 多世代交流の場

よしいだキッチン



食べる 学ぶ 遊ぶ

日時 **2月18日** 月 16時～19時

味噌ちゃんこ鍋を食べよう♪

マイ皿、マイスプーンやマイ箸のご持参にご協力お願いいたします！
(主なアレルギー：豚肉・大豆・小麦・乳成分 ※調理過程でその他アレルギー物質の混入の可能性があります。)

場所 **吉井田学習センター**
(福島市仁井田字西下川原1番地の1)調理実習室及び和室

※参加費無料

郡山島田海苔店
さんの焼きのり
ワークショップ
もあるよ

▶▶▶ よしいだキッチンとは…

子どもたちが学び・遊び・食事を通して、安心して過ごせる居場所を生み出すと同時に、子どもも大人もつながりあい、地域で子どもの育ちを支えることを目的としています。

**よしいだキッチンを
応援して頂ける方大募集!**

ご寄付・食材のご提供・調理や子どもたちとの関わりボランティアなど

[主催] 特定非営利活動法人ビーンズふくしま [住所] 福島市矢剣町22-5
[協力] 吉井田学習センター・福島西ライオンズクラブ・郡山島田海苔店
[問い合わせ先] 特定非営利活動法人ビーンズふくしま 担当:江藤大裕
TEL 080-4184-9438
メール info-kodomonoihasyo@beans-fukushima.or.jp

twitter 

Instagram 

Fig002 2019年2月18日 こども食堂ワークショップの様子



Fig003 2019年3月11日 こども食堂の実施チラシ

地域の子どもの居場所 多世代交流の場

よしいだキッチン



食べる

学ぶ

遊ぶ

日時 3月11日(月) 16時～19時

野菜たっぷりポトフと
《郡山島田海苔店さんの海苔を使った》おにぎりを食べよう♪

マイ皿、マイスプーンやマイ箸のご持参にご協力お願いいたします！
(主なアレルギー: 豚肉・大豆・小麦・乳成分 ※調理過程でその他アレルギー物質の混入の可能性があります。)

郡山島田海苔店
さんの焼きのり
ワークショップ
もあるよ

場所 **吉井田学習センター**
(福島市仁井田字西下川原1番地の1)調理実習室及び和室

※参加費無料

▶▶▶ よしいだキッチンとは…

子どもたちが学び・遊び・食事を通して、安心して過ごせる居場所を生み出すと同時に、子どもも大人もつながりあい、地域で子どもの育ちを支えることを目的としています。

**よしいだキッチンを
応援して頂ける方大募集!**

ご寄付・食材のご提供・調理や子どもたちとの関わりボランティアなど

[主 催] 特定非営利活動法人ビーンズふくしま [住 所] 福島市矢剣町22-5

[協 力] 吉井田学習センター・福島西ライオンズクラブ・郡山島田海苔店

[問い合わせ先] 特定非営利活動法人ビーンズふくしま 担当: 江藤大裕

TEL 080-4184-9438

メール info-kodomonobasyo@beans-fukushima.or.jp

twitter



Instagram



報告（３）企業ギャラリースペースでの協働展示会開催

■N P O／特定非営利活動法人 青陽（いわき市）

■企 業／いわき信用組合（いわき市）

①協働事業の内容

2018 年 11 月実施のマッチング会がきっかけとなり、特定非営利活動法人青陽がいわき信用組合が実施する「頭脳交換会 in いわき 2019」（於：いわき・ら・ら・ミュウ）に 6 組のプレゼンターのうちのひとつとして参加。県内外の経営者や金融機関役員約 70 名の前で自団体の取組をプレゼンし、結果、地元企業数社の協力を得ることとなった。

②双方のメリット

■N P O／実施事業の広報ができる。広く協力を呼び掛けることができる。

■企 業／信用組合が実施する地域貢献の取組みを発信することができる。

③成果または進行状況

株式会社夕月のいわきかまぼこ工房「ゆめギャラリー」（いわき市）にて特定非営利活動法人青陽がサポートする学生の切り絵展が 2019 年 3 月 10 日～4 月 7 日まで開催されている。また現在、地元 WEB 制作会社との間で団体の WEB ページ制作協力の話が進んでいる。

報告（４）裏磐梯周辺の環境調査での協力

■N P O／特定非営利活動法人 裏磐梯エコツーリズム協会（北塩原村）

■大 学／学校法人 郡山開成学園 郡山女子大学（郡山市）

①協働事業の内容

特定非営利活動法人裏磐梯エコツーリズム協会から出された以下の５つの提案

- （１）裏磐梯エリアでの自然環境調査
- （２）観光地でのバリアフリーの疑似体験
- （３）在来の動植物を保全するための活動
- （４）防災減災 磐梯山の噴火に学ぶ有事の際の行動
- （５）震災後の観光地（国立公園）の変化をとらえる

から、直近で実現可能な（１）の自然環境調査を協働で行う。

②双方のメリット

■N P O／大学と協働で行うことで専門知識による詳細な調査の実施。人員不足の解消。協働で行うことでの話題性により裏磐梯エリアの自然環境保護への注目度を高め、また自団体の活動PRによる更なる協力を募ることができる。

■大 学／学生の社会貢献活動での教育推進。協働事業による社会貢献へのアピール。

③成果または進行状況

現在、マッチング事業に関する包括連携協定の締結へむけて進行中。締結後に協働事業を進めるべく準備中。

報告（５）その他 協働提案中の 11 事業

■ 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま

- ①株式会社 共和建商／こども食堂への資金協力、若者就労支援での職場見学
- ②伊達貨物運送 株式会社／こども食堂への協力、若者就労支援での職場見学
- ③学校法人 郡山開成学園 郡山女子大学／こども食堂への協力

■ 特定非営利活動法人 ココネット・ママ

- ④有限会社 郡山島田海苔店／こどもたちの工場見学
- ⑤株式会社 シネマとうほく／こども向けの映画ワークショップの実施
- ⑥株式会社 オグラ／親子自然体験・木工教室での協力
- ⑦株式会社 エヌケー・テック／団体スタッフのマナー研修の実施

■ 特定非営利活動法人 真善美

- ⑧学校法人 郡山開成学園 郡山女子大学／学生ボランティアのカレッジカリキュラム協力

■ 特定非営利活動法人 いわき鳴き砂を守る会

- ⑨いわき信用組合／異業種交流勉強会「電腦交換会 in いわき」への参加から協働への発展

■ 特定非営利活動法人 ほっとハウスやすらぎ

- ⑩株式会社 オグラ／新設カフェへの背板等木材の提供、木工教室での協力

■ 特定非営利活動法人 ピーターバンネットワーク

- ⑪株式会社 エヌ・エス・シー／社内での弁当・パンの販売協力

※上記 11 の協働提案は事業が進展し次第、ここに掲載いたします。

報告（６）昨年度 平成 29 年度実施事業 文化教室の開催 等

■N P O／特定非営利活動法人 喜多方市民活動サポートネットワーク（喜多方市）

■企 業／荒川産業 株式会社（喜多方市）

①協働事業の内容

昨年度の参加企業である荒川産業株式会社の社会貢献活動として企業所有の「くるりんこギャラリー」を活用して一般市民向けに文化教室を実施した。その際の講師派遣と市民への告知を特定非営利活動法人喜多方市民活動サポートネットワークが協力した。

②双方のメリット

■N P O／登録団体の市民文化活動を普及させることができる。

■企 業／自社所有のギャラリーを市民に有効活用していただける。市民に本業のリサイクル業の広報やリサイクルの知識を普及させることができる。

③成果または進行状況

リサイクルについて学ぼう#001「古布を使った『裂き織り体験』」教室の実施

■日時：2018 年 8 月 22 日（水）

■会場：リサイクルミュージアム「くるりんこ」にて

■主催：荒川産業株式会社

■協力：特定非営利活動法人 喜多方市民活動サポートネットワーク

■内容：参加者は荒川産業株式会社リサイクル工場見学のあと「くるりんこ」にて裂き織りを体験

（実施チラシは Fig004、実施の写真は Fig005 を参照のこと）

※この文化教室については今後も継続して開催する予定



リサイクルについて楽しく学ぼう #001

古布を使った「裂き織り体験」

＜体験内容＞

13:00～14:00 荒川産業リサイクル工場見学

工場を見学し、最後にミュージアムのパネル資料でリサイクルについて学びます。

14:00～16:00 裂き織り体験（10組限定）

古布裂き体験～織機を使った裂き織り体験で 60cm×25 cm の布を織ります。

参加対象 一般の方

夫婦・親子・友人・おひとりでも可、子どもは必ず保護者同伴のこと。

参加料 700 円（材料費）※当日お支払いください。

織った布はお持ち帰りいただけます。また別途、布裂き体験用の古布をご家庭からご持参ください。（大きさ自由）

申込方法 下欄の申込用紙にて下記申込先まで FAX してください。

または申込用紙の内容を下記申込先までメールにてお送りください。

限定 10 組となっております（先着順）。

申込先 荒川産業（株）アマルク喜多方 「裂き織り体験」係

FAX **0241-24-2100** / メール **y-masu@amarc.co.jp**



限定 10 組です。お申し込みはお早めに！
8月22日(水) 13:00～16:00

荒川産業（株）
アマルク喜多方 リサイクルミュージアム「くるりんこ」にて

喜多方市字屋敷免 3960 TEL **0241-21-1511**（ヨークベニマル喜多方店さま東向かい docomo 喜多方店さま裏です）

主催 荒川産業 株式会社 アマルク喜多方 **協力** NPO法人喜多方市民活動サポートネットワーク

8/22(水) 荒川産業（株）アマルク喜多方 「裂き織り体験」 申込書



氏名 _____

住所 _____

電話 _____

メール _____

FAX 送信先 **0241-24-2100** ※参加料 700 円は当日お支払いください。

Fig005 2018 年 8 月 22 日 文化教室 実施の様子



10 実施後アンケート調査について

2018 年 11 月のマッチング会終了後に改めて当事業について参加 NPO15 団体と参加企業 20 社に事業実施後アンケートを実施した。

<実施日> 2 月 7 日（木）～2 月 22 日（金）

実施後アンケート <NPO 編>

参加 NPO15、有効回答数 10

Q1. マッチング事業に参加しての感想をお聞かせください。

- いろいろな分野の企業の皆様に、障がい者そして福祉事業の現状、課題などを発信することができるのではないかと思います。充分こちらの意向が伝わったかは分らないが、少しでもこのような機会を通して発信していくことが大事だと痛感しました。機会があればドンドン発信していきたいと思います。
- いろいろな団体のお話を聴けた、大変な経験をさせていただきましたことが、参考になりました。また、自分たちの想いを率直に発表する機会が出来たことが良い経験になりました。
- 非常に良い取り組みで、年々参加企業も増加していて来年も期待しています。
- 企業の参加が少ないと感じた。
- 新しい企業との出会いがあり、良かった。
- 日頃、企業の皆様と接点が少ない事から、私たちの事業を知ってもらう機会を作っていたことはとても嬉しいことでした。
- マッチングは NPO のメリットを考えていたが、協働する企業のメリットにもつながると分かった。協働する組織それぞれの諸問題や、取り組もうとする社会貢献活動の課題を解決していけるのがマッチングだと感じた。
- PowerPoint の作成など新しい技術の習得・作成することに関してブラッシュアップが図れ、良い時間が持てたと思います。
- 概ね良かったと思われますが、アピールの時間がもう少し欲しい。
- 自分たちだけでは企業へのアプローチがなかなか出来なかった（どこへどう打診したらよいのかわからなかった）が、自信を持つことができた。

Q2. 企業との協働について貴団体の今後の展開・やるべきことなどお聞かせください。

- 就労継続支援事業所としては、就労そして工賃確保が大変重要な事なので少しでも理

解していただき、就労の機会を与えていただける企業を見つけ、サポーターとして協力していただけるようアプローチしていきたい。

- 私たち団体のスタッフは、パソコン教室について 20 年の経験を持っています。これらの技術・ノウハウを広く一般の方や他の団体企業などに活用していければよいのかな、と考えています。
- 地域課題解決に向けて、NPO だけではなく企業と共に働いていきたい。
- 全員参加型のマッチングが良いのか、個別アプローチが良いのか検討が必要。
- 企業側のメリットも提案し、福祉の押し付けをせずいいものづくりをすること。
- 自然環境の保全に関して、協働への理解を進めるアクションをしていく。
- 当法人の活動内容の整理、見直しも含め、企業の賛同を得られるような組織づくりを行い、事業のグレードアップを目指して様々な団体と連携していきたい。
- タイアップする上での自分たちのスキルアップ。情報発信するためのテクニック etc…やるべき課題はたくさんあると感じました。
- 各企業の思惑、求めている事を引き出してほしい。それに基づくプレゼンが出来るので。
- 組織力を高めること（企業に安心して関わってもらうために）。

Q3. マッチング会の実施内容についてご意見があればお聞かせください。

Q3-1. 実施期間(マッチング期間 11 月 13 日～15 日開催)

- 良いです。
- 実施の時期的には良いと思います。日程については、企業団体様が出席しやすいように日曜日、祝日、祭日等にしたらどうでしょうか。
- 良いと思います。
- 良いと思う。
- 私どもとしては、一番の繁忙期になるので、調整が難しいところもある。
- 主な事業活動時期と重なるため、年度前半（6～8 月頃）が希望。
- 時期については問題ないと思います。
- 出来れば、12 月～4 月でお願いしたい。
- 当団体にとっては、年間で一番よい時期でした。

Q3-2. いわき・福島・会津3地域に分かれての実施について

- 良いです。
- 私たちとしましては、会津若松市で実施されたこと、大変有難かったです。
- 福島地区での開催を希望します。
- 良いと思う。
- とても良かったです。

- 地元での開催の方が3回の受講を考えると有難い。
- 3回目に他地域への参加をお願いされましたが、他地域での活動をするより、やはりいわき内での活動を優先したいと思います。
- このままで良いと思う。
- 講座が3カ所であると、予定を立てやすく休むことなく、とても助かりました。マッチングは、3地域で特色が違うので様々なアプローチができる・できないを見極めることが出来た。

Q3-3. 実施内容

(1)アプローチ講座

- 良いです。
- プレゼンの仕方等全く初めての経験でしたので、リハーサルなどのご指導があり良かったです。
- 毎回勉強になります。
- 講師より具体的な指摘があり、とても有意義だった。
- プレゼン資料を作成するにあたり、改めて活動内容を精査する事が出来た。皆さんからも意見を頂けてとても勉強になった。
- PowerPoint を使ったプレゼンは初めてだったので、大変勉強になりました。
- プレゼンの内容をもう少し増やしてほしい。
- 講師が素晴らしく、大変勉強になりました。

(2)マッチング会

①NPO から企業へのプレゼンについて

- プレゼンも久しぶりだったので楽しかったです。もっと時間が欲しかったです。
- まだまだ、プレゼンの仕方などに工夫の余地があり、反省しております。
- それぞれの持ち時間の中で、形式にとらわれないでやってもいいと思った。
- 私どもの活動内容が現代の社会のニーズからは少し離れているので、難しいのではと思う。(でもやっていかななくてはならない)
- いわき地区は参加企業が少なく残念ではあったが、参加していただいた企業の皆さんの声を直接伺えたことは貴重な時間だった。
- 初めてにしては上手くいったのでしょうか。
- 良好。
- とてもよい機会をいただきました。NPO や任意団体の方と話すのとは違う緊張感が、当団体を成長させてくれるように思います。

②プレゼン後の NPO と企業とのお見合い面談について

- 各企業団体様への訴え方が、うまくいきませんでした。全くの畑違いの方などには何をお話したらよいか、戸惑いました。
- 一社ずつ話せると尚良い。
- 時間が少ない。
- 良いと思う。
- 当協会のイベント情報提供をしているが、継続していく事の難しさを感じている。
- 自主事業開催準備期間となって多忙であったため、お見合いは行っていない。
- 実施当初より、参加企業がどれくらいあるのか。いわきという地域性を知っているだけに、実際集まった企業を見てやっぱり感はありました。ただ、いわきの中でも発信しよう、マッチングしようとしている企業はたくさんありそうなので、ぜひ県のチカラを使っていただいてより多くの企業とのマッチング会を開けるようにしていただければと思います。
- 良好。
- 郡山のように企業が多いと時間を作ることが難しいと思うのです。1対1でお見合いできた会津やいわきの方がより深く知り合えたように思います。郡山で活動しているので、各企業さんともっと話してみたかったような（でも時間が長くなり疲れてしまうかな…）。

Q3-4. その他改善点や希望があれば

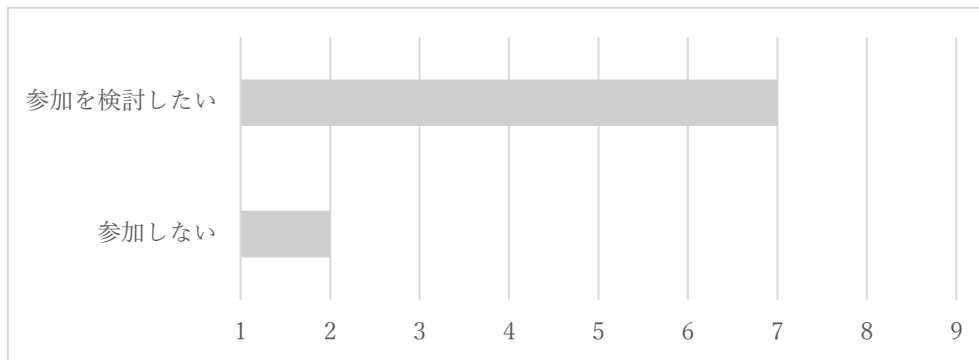
- 特にありません。
- プレゼンの終了後に、少しばかり時間を取り、企業様との補足の質問を受けるやり取りを設けたらよいのかと思います。
- 企業側の紹介をもう少し詳しく聞きたかった。
- 今回プレゼン資料を作成したが、その協働希望内容に「倉庫、又は土地の貸し出し」という項目があった。その資料がマッチング会への参加を募るため事前に企業へ配られたのかと思うが、この講座の期間中に突然ある不動産屋から貸し倉庫（レンタル物件）のチラシが送られてきた。少しぶしつけだと不快に思った。企業の中には、協働よりも利益第一で NPO の諸問題に喰いつく所もあると思うので、プレゼン資料の事前開示については概要のみにするなど考えていただければと思う（情報が駄々洩れするだけでは問題有りと思います）。

Q4. 昨年 11 月の「マッチング会」後に貴団体が独自に参加企業と協働について話をされましたか？もしあればその内容や状況を教えてください。

- 島田海苔店へのアプローチをサポセンに依頼しました。
 - 共和建商：子ども食堂寄付予定・職場見学予定。郡山島田海苔店：子ども食堂協賛・ワークショップ開催。伊達貨物：職場見学・子ども食堂協力予定。
 - 郡山女子大学：学生との協同研究会。郡山女子大学へサポートセンターからの回答待ち。
 - NSC：年末に先方からアプローチがあり、訪問予定だったが体調を崩しその時は延期となりました。当方で新商品の施策を準備し、再度アプローチをする予定。
 - ほとんどの企業にイベント等の情報提供を一方的にしている状況です。反応はありません。まだまだ魅力、アピール等が少ないと反省しています。
 - ソーシャルスピーカー：SNS を活用しての情報発信など、SNS 活用方法の講習会。2 月中旬に 2 回行っていただくことになった（いわき商工会議所が窓口になっているミラサボ事業を紹介していただき、その事業を活用して依頼することとなった）。
 - いわき信用組合：マッチング会で知り合い、さらに別の頭脳交流会に参加させてもらいました。頭脳交流会においてプレゼンターとして参加者 60 名程に話をし、色々とアイデアを頂きました。そのうちの何社かと今後の仕事の進め方であったり、作品の展示だったりと話が進行しています。
 - シネマとうほく：電話で話した。パラパラ漫画やゾートロープのワークショップを学童のイベントとして開催して下さる。夏休みに企画をする予定。近くになったら改めて連絡する。
- 島田海苔店：会って話した。工場見学と体験の受け入れ。同じく夏休みに企画をする予定。近くになったら改めて連絡する。

Q5. 来年度(平成 31 年度)も同事業が実施された場合、参加したいですか？

	回答数	%
参加を検討したい	7	77.8%
参加しない	2	22.2%
回答者数	9	100.0%



理由

<参加を検討したい>

- NPO と企業とのマッチング会に初めて参加したが、もっともっと福祉事業の現状を発信すべきと思いました。福祉関係の内輪の研修・会議等はあるが、一般の方々あるいは外部との接触はあまりないので、福祉事業の現状を発信するためにも参加したいと思います。
- 私たちにとって、良い経験が出来たこと、自己研鑽の機会が出来たこと。
- 現在、企業向けの新商品を開発しているため。
- 普及活動という意味でアクションしていかなければならないと思っています。
- 自分達ではつながれない方々とお話ができたり、存在を知ってもらえることができるので。

<参加しない>

- 活動内容、組織見直し期間とするため。
- とにかく活動を告知したい。

以上

実施後アンケート ＜企業編＞

参加企業 20、有効回答数 13

Q1. マッチング事業に参加しての感想をお聞かせください。

- 初めての参加で、センセーショナルでした。
- 熱心な取り組みをされている NPO 法人が多くあると感じました。
- 社会的弱者のセーフティーネットとしての NPO 法人や真剣に取り組まれている方々の熱意が伝わってきました。何でも行政頼り、悪いのは人のせいにしがちな昨今、社会全体で守り育てる意識やその啓蒙がもっともっと必要と感じました。
- いろいろな事業があり勉強になります。
- NPO で活動している団体様の意欲・熱意が伝わり貴重な体験が出来ました。
- 大変参考になった。
- 当公庫の NPO 支援について理解いただくことができ大変有意義だった。
- 初めての参加でしたので、お互いの要望が把握できるまで時間がかかりました。
- 有意義だった。知らないことを知る事ができた。
- 様々な事業があるのだなと思った事と、それぞれ工夫して行っているのだなと。ただ、今1番何を望んでいるのかが、あまり明確でなかった気がします。PR で終わってしまったような…。
- 多くの NPO の方と接することが出来、大変勉強になりました。
- NPO 法人各社様それぞれ信念を持ちその事業を行っていることに共感しました。
- 普段接点のない NPO さんたちと交流ができ、勉強になりました。

Q2. NPO との協働について貴団体の今後の展開・やるべきことなどお聞かせください。

- 積極的な PR 活動を願います。
- 取組みの発信→連携強化→事業の持続的な取組みへと繋げていきたいと考えます。
- 地域社会での地元企業の社会的役割の重要性や、お金をどう使うのか（社会への還元）が問われる時代。その為にも経営をしっかりと行い、結果地域社会に貢献できる企業として発展したい。もっとお互いの情報の発信と交流の機会が必要に思う。
- 多様化に対応すべく、新しい事業への展開に協力願いたいです。
- 社員として協働したい気持ちはありますが、会社の理解も必要だと思いました。
- NPO との協働に当たっては、福島県ないしサポートセンターとの包括連携協定を締結し、学生の安全安心を図ることから今後の展開を考えてゆきたい。
- NPO に対する支援は今後も組織として行う予定。NPO には、ソーシャルビジネスの主たる担い手として期待。

- 協働の可能性について検討し、実現したい。
- どうしても NPO<企業という構図になりがちなので、企業が NPO に求めることがあっても良い社会になればと思います。
- 弊社としてお手伝い出来る事があれば関わっていきたいと思います。
- 前は初めての参加でしたので主旨があいまいなままの参加でしたが、次回もあるのであればそれなりの資料を準備して参加したいと考えています。

Q3. マッチング会の実施内容についてご意見があればお聞かせください。

Q3-1. 実施期間

- 春先が良い。
- 特に不満はありません。
- 年に 2 回（5 月、11 月）実施してみたいかでしょうか。年度当初と中間。
- 12～3 月は忙しい。
- 時期的に良いと思います。
- 問題なし。
- 年度初めの方が良い。
- 半年に 1 度あってもよいかと思っています。

Q3-2. いわき・福島・会津3地域に分かれての実施について

- 福島市も会場を設けていただきたい。
- いわきでの開催は継続して欲しいと思います。
- 良いと思います。過去の参加企業や所在に応じて会場を選定（増）してみたいかでしょうか。
- 良いと思います。
- 福島県の地域性からみて妥当ではないか。
- ニーズがあれば相双地区でも開催を検討して欲しい。
- 良いと思う。
- NPO の方々も、それぞれ地元で活動しておりますので、3 地域でなくもう少し細分化しても良いのではと思いました。
- 会津の会場に福島・郡山の NPO 法人も参加されていたのでこのままで良いと思います。
- 3 地域開催であれば弊社としては郡山のみの参加となります。

Q3-3. 実施内容(マッチング会 11 月 13 日～15 日開催)

①NPO から企業へのプレゼンについて

- もう少し、プレゼンの時間を長くしても良いと思います。
- よくまとまっていたと感じました。
- 限られた時間の中で、皆さん工夫されていてそれぞれの特色が良く分かりました。
- とても分かりやすい。
- 限られた時間の中で伝えるべきことをよくまとめてあったと思います。
- 限られた時間の中で、どの NPO も一生懸命説明しているのが印象に残った。
- 双方からアピールポイントを伝えることが出来、良かった。
- より具体的な希望・要望であれば良いと思う。
- 特になくても良い気がしました。話を聞くだけで充分です。
- 大変良かったと思います。
- 企業に対しての依頼や希望をもっと明確にプレゼンした方がよいかと思います。今回は自己紹介の意味合いが強いように感じました。

②プレゼン後の NPO と企業とのお見合いについて

- 一つの団体に対し、二つの企業では、会話する時間が少なすぎました。
- 知り合うきっかけとなったと思います。
- 1NPO 対複数社とのお見合いの形式の場合、1 社だけの話で終わってしまったケースがありました。企業 1 社の持ち時間を設けていただくと有難いと思います。残った時間は、フリートーク時間帯に。思いが強い分、企業側も多くの情報交換をしたいと思いますが…。
- 時間がもう少しあれば…。
- 時間が短かったように思います。
- お互いに参加する団体・企業が多かった為、もう少し時間があつた方が良かった。
- 今回実施のような規模が適正だと思う。
- マッチングが想像できない NPO 法人とのお見合いは、先方様に申し訳ない気がしていた。
- 全員と面談した後、個別にお話する時間があってもよいかと思いました。

Q3-4. その他改善点や希望があれば

- 参加する NPO がもう少し増えるといいなと思います。
- 情報の発信活動を応援しております。
- マッチングでの成功事例やコンサルがあれば。

- どうしても金銭面での期待が大きいかと思うので、直接の結びつきがなかなか難しいと感じました。具体的にこの位の予算で、何を作りたいんだ、という指示があれば、見積もりだけでも後日出せるのかな、と。
- 会津会場は企業の参加が少なすぎる気がしました。

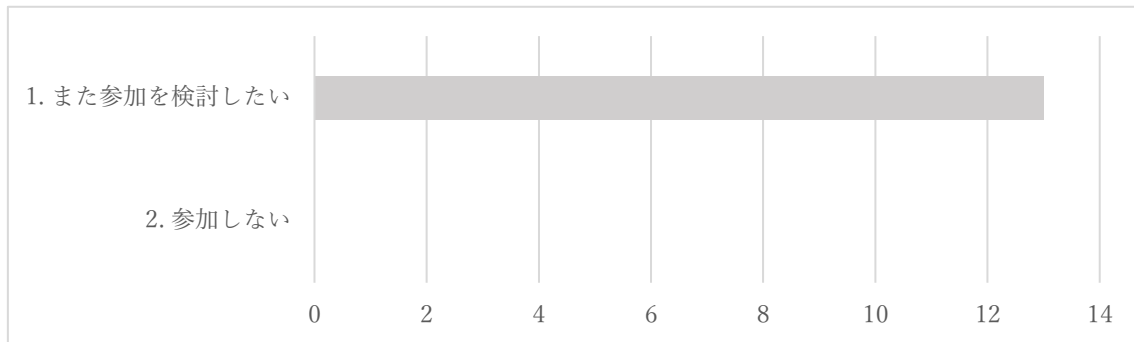
Q4. 昨年 11 月の「マッチング会」後に御社独自に参加 NPO と協働について話をされましたか？もしあればその内容や現在の状況を教えてください。

<法人名／内容／現在の進行状況など>

- 裏磐梯エコツーリズム協会、ビーンズふくしま／メールにて行事案内をいただいている、訪問面談実施。／案内を頂いているもので参加できるか、社内で都度協議。職場見学等、希望者がいれば受入れ可能。
- いわき鳴き砂を守る会、青陽／当組合が主催する「ネットワーク交流会」への参加による連携先の拡大。／青陽→(株)夕月社が経営する店頭で、学生が制作した切り絵画の展示をする事になった。ホームページの刷新についても地元専門業者と協議中。
- ビーンズふくしま／活動状況の説明、弊社での対応可能な事項の確認、活動資金の寄付行為について。／職場体験の受け入れ：ビーンズふくしまサイドで計画したうえで日程等の調整をする。事業資金としての寄付：平成 31 年度に実施検討中。
- 裏磐梯エコツーリズム協会／イベントチラシの作成協力、web ページ内容アドバイス。／現在双方とスケジュール等調整中です。
- ビーンズふくしま／事務局スタッフを交え、まずビーンズさんの要望を聞いた。／前述の県ないし事務局との包括連携協定を締結後に本学で出来得る協働を探っていきたい。
- ビーンズふくしま、ファミリー・サポート／ワークショップ、ボランティア、工場見学。／1 月によしいだキッチンのボランティアとして参加、2 月に同イベントのワークショップ参加予定。
- 連絡はしましたが、まだ 1 度も参加された NPO 法人と進んだ話はできておりません。
- ココネット・맘／施設の修繕について当日前向きにお話いたしました、その後特に進展しておりません。／近々こちらから連絡したいと考えております。

Q5. 来年度(平成 30 年度)も同事業が実施された場合参加しますか？

	回答数	%
1. また参加を検討したい	13	100.0
2. 参加しない	0	0.0
回答者数	13	100.0



参加を検討したい

- 私達でできる事はぜひ支援させていただきたい。
- 本年度は時代変化が大きく、次のステップにお互い役立てたい。
- NPO との貴重な接点となる又とない機会だから。
- 当公庫の NPO 支援について理解いただける良い機会であるため。
- 白河で開催してください。
- 協働できる NPO 法人様が見つかるかもしれないから。
- 是非参加したいと思います。

以上

平成 30 年度

「NPO、企業、学生との連携・協力事業」および

「ふるさと・きずな維持・再生支援事業成果報告交流会」業務

NPO と企業等のマッチング事業 報告書

平成 31 年 3 月 発行

ふくしま地域活動団体サポートセンター

〒960-8043 福島県福島市中町 8 番 2 号 福島県自治会館 7 階

TEL 024-521-7333 FAX 024-523-2741

URL <https://fnpo-matching.f-saposen.jp/>

事業委託：福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課

事業受託：認定特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター
